<table>
<tr><td>工　事　番　号</td><td></td><td>施　工　年　度</td><td>令和７年度</td></tr>
<tr><td>工　事　名　称</td><td colspan="3">鶴岡市公共下水道事業　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事(その３)</td></tr>
<tr><td>工　事　場　所</td><td colspan="3">鶴岡市茅原町地内</td></tr>
<tr><td>施　　工　　主</td><td>鶴岡市</td><td colspan="2" rowspan="11">工事概要
施工延長　L=52.6m

オープンシールド工　L=49.4m
大型フリューム工　L= 3.2m
遠心ボックスカルバート工　L= 3.3m
カルバート工　L=11.8m
集水桝工　N= 2基
管布設工　L=16.9m
小型マンホール工　N= 2基</td></tr>
<tr><td>設　計　区　分</td><td></td></tr>
<tr><td>路　　線　　名</td><td>雨水茅原第２幹線2006-A号</td></tr>
<tr><td>工　事　期　間</td><td>令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>工　事　日　数</td><td>日</td></tr>
<tr><td>部　　課　　名</td><td></td></tr>
<tr><td>積　算　担　当</td><td></td></tr>
<tr><td>合　　計　　額</td><td></td></tr>
<tr><td>工　事　価　格</td><td></td></tr>
<tr><td>消費税相当額</td><td></td></tr>
</table>

位置図

北海道地図株式会社

0 100 200 300 400 500 m

1:12500

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の１地形図を使用した。（承認番号　平24情使、第244-30078号）」

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費	下水道工事（２）					週休２日 月 単 位	労務費　1.04 機械賃料　1.02	場所区分:市街地(DID補正)
	オープンシールド工				1			
	準備工			式	1			
		舗装版取壊し工		式	1			第　1号明細書
	作業土工			式	1			
		作業土工		式	1			第　2号明細書
	掘進工			式	1			
		切羽作業工		式	1			第　3号明細書
		坑内作業工		式	1			第　4号明細書
		抗外作業工		式	1			第　5号明細書
	裏込注入資材費			式	1			
		裏込注入機材設置工	設置、撤去	式	1			第　6号明細書
		裏込注入機材		式	1			第　7号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		裏込関連部品・消耗品		式	1			第　8号明細書
		機械器具損料(1)	油圧機器	式	1			第　9号明細書
		機械器具損料(2)	重機	式	1			第　10号明細書
		機械器具損料 (3)	重機燃料	式	1			第　11号明細書
	オープンシールド機費			式	1			
		オープンシールド機費		式	1			第　12号明細書
	仮設備			式	1			
		仮設備工	ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機組立据付工	式	1			第　13号明細書
	函体費			式	1			
		函体材料費	ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ工法用	式	1			第　14号明細書
		目地・モルタル工		式	1			第　15号明細書
		空伏工		式	1			第　16号明細書
	裏込注入廃材処理工			式	1			

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		裏込注入廃材処理工		式	1			第　17号明細書
	特許料			式	1			
		特許料		式	1			第　18号明細書
	排水施設工			式	1			
		作業土工		式	1			第　19号明細書
		大型フリューム工		式	1			第　20号明細書
		遠心ボックスカルバート工	φ300	式	1			第　21号明細書
		遠心ボックスカルバート工	φ400	式	1			第　22号明細書
		ボックスカルバート工	RCB-B400-H400　T-25	式	1			第　23号明細書
		ボックスカルバート工	RCB-B600-H600　T-25	式	1			第　24号明細書
		場所打集水桝工	SM-B500-L500-H500	式	1			第　25号明細書
		場所打集水桝工	SM-B3200-L1500-H1660	式	1			第　26号明細書
		隔壁工		式	1			第　27号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
	撤去工			式	1			
		作業土工		式	1			第　28号明細書
		取壊し工		式	1			第　29号明細書
		敷砂利工		式	1			第　30号明細書
		防護柵工		式	1			第　31号明細書
	舗装復旧工			式	1			
		舗装工		式	1			第　32号明細書
	仮設工			式	1			
		交通管理工		式	1			第　33号明細書
	管路（単独）				1			
	管きょ工（開削）			式	1			
		管路土工		式	1			第　34号明細書
		発生土処理		式	1			第　35号明細書

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		管布設工		式	1			第　36号明細書
		管基礎工		式	1			第　37号明細書
		管路土留工		式	1			第　38号明細書
		開削水替工		式	1			第　39号明細書
	マンホール工			式	1			
		小型マンホール工		式	1			第　40号明細書
		マンホール工	既設人孔切替	式	1			第　41号明細書
	付帯工（開削）			式	1			
		舗装撤去工		式	1			第　42号明細書
		舗装仮復旧工		式	1			第　43号明細書
	仮設工			式	1			
		交通管理工		式	1			第　44号明細書
	直接工事費計							

本　工　事　内　訳　書

工事区分	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
	共通仮設費計							
	運搬費			式	1			第　18号内訳書
	事業損失防止施設費			式	1			第　20号内訳書
	共通仮設費			式	1			
	現場環境改善費			式	1			第　25号内訳書
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

第　1号　　1式当たり　　明細書

舗装版取壊し工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	120			第　1号単価表
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m^2	130			第　2号単価表
殻運搬処理	アスファルト殻	m^3	7			第　3号単価表
計						

第　2号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
床掘り	土砂	m^3	50			第　4号単価表
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m^3	30			第　5号単価表
埋戻し材料費	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(RC-40)	m^3	40			第　6号単価表
残土運搬	往復 流用土	m^3	40			第　7号単価表
残土運搬処理		m^3	230			第　8号単価表
計						

第　3号　　1式当たり　　明細書

切羽作業工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
直線切羽作業工		m	15			第　9号単価表
初期切羽作業工		m	10			第　10号単価表
曲線切羽作業工	R=50m未満～30m以上	m	23			第　11号単価表
計						

第　4号　　1式当たり　　明細書

坑内作業工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
直線坑内作業工		m	15			第　12号単価表
初期坑内作業工		m	10			第　13号単価表
曲線坑内作業工	R=50m未満～30m以上	m	23			第　14号単価表
計						

第　5号　　1式当たり　　明細書

抗外作業工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
直線坑外作業工		m	15			第　15号単価表
初期坑外作業工		m	10			第　16号単価表
曲線坑外作業工	R=50m未満～30m以上	m	23			第　17号単価表
計						

第　6号　　1式当たり　　明細書

裏込注入機材設置工

設置、撤去

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
裏込注入機材設置工		回	1			第　18号単価表
裏込注入機材撤去工		回	1			第　19号単価表
裏込注入材料	割増注入量	m^3	57			第　20号単価表
計						

第　7号　　1式当たり　　明細書

裏込注入機材

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
裏込注入機材		式	1			第　21号単価表
計						

第　8号　　1式当たり　　明細書

裏込関連部品・消耗品

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
裏込関連部品・消耗品		式	1			第　22号単価表
計						

第　9号　　1式当たり　　明細書

機械器具損料(1)

油圧機器

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
機械器具損料(1)		式	1			第　23号単価表
計						

第　10号　　1式当たり　　明細書

機械器具損料(2)

重機

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械器具損料(2)		式	1			第　24号単価表
計						

第　11号　　1式当たり　　明細書

機械器具損料（3）

重機燃料

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械器具損料（3）		式	1			第　25号単価表
計						

第　12号　　1式当たり　　明細書

オープンシールド機費

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
オープンシールド機費	損料	台	1			第　26号単価表
ボルト・ナット	F10T M22×80　585kg/組	組	360			第　27号単価表
スクラップ	ﾍﾋﾞｰH1	t	0.21			第　28号単価表
計						

第　13号　　1式当たり　　明細書

仮設備工

ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機組立据付工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機組立据付工	【地中残置部：開始時】	箇所	0.3			第　29号単価表
ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機解体撤去工	【到達立坑】	箇所	1			第　30号単価表
油圧機器工	設置工	箇所	1			第　31号単価表
油圧機器工	撤去工	箇所	1			第　32号単価表
ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機地中残置工	【撤去】＜撤去工＞	箇所	1			第　33号単価表
覆工板、覆工板受桁撤去のみ	覆工板設置面積700㎡以下	㎡	24			第　34号単価表
スクラップ費	特級Ａ	t	0.66			第　35号単価表
計						

第　14号　　1式当たり　　明細書

函体材料費

ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ工法用

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
ボックスカルバート	耐震用　RC1800×1200×1500　標準費	本	16			第　36号単価表
ボックスカルバート	耐震用　RC1800×1200×1126　短尺品	本	1			第　37号単価表
ボックスカルバート	耐震用　RC1800×1200×739　短尺品	本	1			第　38号単価表
ボックスカルバート	耐震用　RC1800×1200×747/709　短尺品	本	17			第　39号単価表
ボックスカルバート	耐震用　RC1800×1200×747/709　短尺品	本	15			第　40号単価表
ボルト・ナット	購入・全損　M20×50	組	800			第　41号単価表
スクラップ	ヘビーH1 特級Ａ	t	1			第　42号単価表
計						

第　15号　　1式当たり　　明細書

目地・モルタル工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
目地工	RC1800×1200	箇所	50			第　43号単価表
モルタル工	ｸﾞﾗｳﾄﾎｰﾙ等孔埋め	函体	50			第　44号単価表
計						

第　16号　　1式当たり　　明細書

空伏工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
空伏工(到達部)		m	0.8			第　45号単価表
基礎コンクリート工(到達部)	無筋･鉄筋構造物、人力打設、18-8-40	m^3	0.4			第　46号単価表
計						

第　17号　　1式当たり　　明細書

裏込注入廃材処理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
濁水処理装置設置工	＜設置＞	回	1			第　47号単価表
濁水処理装置設置工	＜撤去＞	回	1			第　48号単価表
裏込注入廃材処理設備機械器具損料		式	1			第　49号単価表
濁水処理材料費		式	1			第　50号単価表
泥水運搬工　(バキューム車)	汚泥吸排車　３．１～３．５ｔ車､L=18.4km､DIDあり	m^3	2			第　51号単価表
建設汚泥処分費	ﾊﾞｷｭｰﾑ車による搬入 含水率85%以上のもの	m^3	2			
計						

第　18号　　1式当たり　　明細書

特許料

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
特許実施料		m^3	103			第　52号単価表
計						

第　19号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘	BH　0.28㎥	㎥	10			第　53号単価表
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	㎥	7			第　5号単価表
残土運搬	流用土	㎥	8			第　54号単価表
残土運搬処理		㎥	4			第　8号単価表
計						

第　20号　　1式当たり　　明細書

大型フリューム工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基礎砕石		㎡	10			第　55号単価表
型枠	均しコン型枠	㎡	0.6			第　56号単価表
コンクリート	18-8-40	㎥	2			第　57号単価表
大型フリューム水路機械据付	2500×1400×2000　3,810kg	個	1			第　58号単価表
大型フリューム水路機械据付	2500×1400×1685/605　2,181kg	個	1			第　59号単価表
計						

第　21号　　1式当たり　　明細書

遠心ボックスカルバート工

φ300

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基礎砕石	t=10㎝	㎡	1			第　60号単価表
遠心ボックスカルバート設置	φ300	m	2			第　61号単価表
横穴費	φ400以下	箇所	1			第　62号単価表
計						

第　22号　　1式当たり　　明細書

遠心ボックスカルバート工

φ400

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基礎砕石	t=10㎝	㎡	1			第　60号単価表
遠心ボックスカルバート	φ400	m	1			第　63号単価表
横穴費	φ400以下	箇所	1			第　62号単価表
計						

第　23号　　1式当たり　　明細書

ボックスカルバート工

RCB-B400-H400　T-25

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ボックスカルバート工	RCB-B400-H400　T-25	m	3			第　64号単価表
横穴費	φ401～600	箇所	1			第　65号単価表
計						

第　24号　　1式当たり　　明細書

ボックスカルバート工

RCB-B600-H600　T-25

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ボックスカルバート工	RCB-B600-H600　T-25	m	9			第　66号単価表
計						

第　25号　　1式当たり　　明細書

場所打集水桝工

SM-B500-L500-H500

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-40(高炉)、0.36m3を超え0.38m3以下、人力打設、	箇所	1			第　67号単価表
正方形桝蓋（落し込式 受枠共）	T-14　500×500用 600×600mm 38.4kg/枚	枚	1			
計						

第　26号　　1式当たり　　明細書

場所打集水桝工

SM-B3200-L1500-H1660

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下	㎡	8			第　68号単価表
型枠	一般型枠、均しｺﾝｸﾘｰﾄ	㎡	1			第　69号単価表
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40	㎥	0.8			第　70号単価表
型枠	鉄筋構造物	㎡	27			第　71号単価表
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21-12-25	㎥	3			第　72号単価表
鉄筋工	一般構造物　SD345 D16	t	0.08			第　73号単価表
鉄筋工	一般構造物　SD345 D13	t	0.15			第　74号単価表
桝蓋(ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ)	3200×1500用　T-14（4分割）	組	1			第　75号単価表
H形鋼	H-125×60×6×8　13.2kg/m	t	0.04			第　76号単価表
H形鋼	H-150×150×7×10 31.1kg/m	t	0.11			第　77号単価表
亜鉛メッキ	HDZ T77	t	0.14			第　78号単価表
足掛金物取付	SW-30	個	4			第　79号単価表
計						

第　27号　　1式当たり　　明細書

隔壁工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	鉄筋構造物、人力打設、21-12-25(高炉)	m^3	0.5			第　80号単価表
型枠	鉄筋構造物	m^2	4			第　71号単価表
鉄筋工	一般構造物　SD345　D13	t	0.02			第　81号単価表
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	φ16mm L=100mm	孔	18			第　82号単価表
樹脂カプセル	R-12N　13×83 ガラス管	本	18			第　83号単価表
計						

第　28号　　1式当たり　　明細書

作業土工

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
床掘	BH 0.28㎥	㎥	30			第　84号単価表
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	㎥	40			第　5号単価表
残土運搬	往復 流用土	㎥	30			第　7号単価表
計						

第　29号　　1式当たり　　明細書

取壊し工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート切断	ウォールソー	m	4			第　85号単価表
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要	m^3	12			第　86号単価表
殻運搬処理工	鉄筋コンクリート殻	m^3	12			第　87号単価表
計						

第　30号　　1式当たり　　明細書

敷砂利工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
敷砂利工	RC-40 t=5cm	m^3	1			第　88号単価表
計						

第　31号　　1式当たり　　明細書

防護柵工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ撤去工(土中建込)	塗装･ﾒｯｷ品 Gp-Cp-2E	m	10			第　89号単価表
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工(土中建込)	塗装品 Gr-C-4E､直線部	m	13			第　90号単価表
計						

第　32号　　1式当たり　　明細書

舗装工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤工	RC-40　t=17cm	㎡	85			第　91号単価表
下層路盤工	RC-40　t=35cm	㎡	64			第　92号単価表
路盤工	RC-40　t=10cm	㎡	6			第　93号単価表
上層路盤工	M-40　t=15cm	㎡	150			第　94号単価表
表層工	再生密粒度AS20 t=5cm	㎡	150			第　95号単価表
表層工	再生密粒度AS13 t=3cm	㎡	6			第　96号単価表
計						

第　33号　　1式当たり　　明細書

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員	交通誘導警備員Ｂ	人	160			第　97号単価表
計						

第　34号　　1式当たり　　明細書

管路土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路掘削	BH0.28㎥	㎥	10			第　98号単価表
機械掘削工（バックホウ）		㎥	8			第　99号単価表
機械投入埋戻工（購入土）	再生改良土　BH0.28㎥	㎥	10			第 100号単価表
計						

第　35号　　1式当たり　　明細書

発生土処理

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土運搬工　(DIDあり)	L=2ｋｍ	m³	6			第 101号単価表
発生土運搬工　(DIDあり)	L=6.7ｋｍ	m³	2			第 102号単価表
土砂等運搬	小規模、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)、L=6.7km	m³	10			第 103号単価表
建設発生土処理費 佐藤建設㈱	コーン指数>800KN/㎡(第1･2種発生土)	m3	10			
計						

第　36号　　1式当たり　　明細書

管布設工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
リブ付硬質塩化ビニル管設置工	管径200㎜	m	12			第 104号単価表
埋設標識ｼｰﾄ敷設	150㎜×50ｍ 2倍	m	12			第 105号単価表
埋設表示ﾃｰﾌﾟ	幅30㎜ 厚0.15㎜±0.03㎜	m	16			第 106号単価表
計						

第　37号　　1式当たり　　明細書

管基礎工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
砕石基礎設置工（機械施工）		m^3	2			第 107号単価表
計						

第　38号　　1式当たり　　明細書

管路土留工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
建込工(両側分)	掘削深 2.0m以下	m	12			第 108号単価表
引抜工(両側分)	掘削深 2.0m以下	m	12			第 109号単価表
建込簡易土留賃料		式	1			
計						

第　39号　　1式当たり　　明細書

開削水替工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ポンプ運転工（常時排水、商用電源）	口径50㎜、揚程5ｍ×1台	日	2			第 110号単価表
ポンプ据付・撤去工	口径50㎜、揚程5ｍ×1～2台	現場	1			第 111号単価表
計						

第　40号　　1式当たり　　明細書

小型マンホール工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
小型マンホール（塩化ビニル製）	径300㎜ 深2ｍ以下	箇所	2			第 112号単価表
鋳鉄製防護蓋設置費	φ300㎜ T-25 沈下防止板含む 市章入り	組	2			第 113号単価表
計						

第　41号　　1式当たり　　明細書

マンホール工

既設人孔切替

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
既設マンホール工	底部工 1号	箇所	1			第 114号単価表
計						

第　42号　　1式当たり　　明細書

舗装撤去工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m	24			第　1号単価表
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	m^2	11			第　2号単価表
殻運搬処理	アスファルト殻	m^3	0.6			第　3号単価表
計						

第　43号　　1式当たり　　明細書

舗装仮復旧工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤	RC-40 t=17cm	㎡	11			第 115号単価表
上層路盤（車道・路肩部）	M-40 t=15cm	㎡	11			第 116号単価表
計						

第　44号　　1式当たり　　明細書

交通管理工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員	交通誘導警備員Ｂ	人	4			第　97号単価表
計						

第　45号　　1式当たり　　明細書

仮設材運搬費

オープンシールド

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
仮設材の運搬費(鋼矢板･H形鋼･覆工板･敷鉄板等)	(A)長12m以内,距離10kmまで、往復	t	29.1			第 117号単価表
仮設材の積込み､取卸し	基地～現場～基地	t	29.1			第 118号単価表
計						

第　46号　　1式当たり　　明細書

建設機械運搬費

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
オープンシールド機（往路）	NOSⅠ型 L=523km(参考)	回	1			第 119号単価表
オープンシールド機（復路）	NOSⅠ型 L=523km(参考)	回	1			第 120号単価表
計						

第　47号　　1式当たり　　明細書

仮設材運搬費

管路

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
仮設材の運搬費(鋼矢板･H形鋼･覆工板･敷鉄板等)	(A)長12m以内,距離10kmまで、往復	t	4.7			第 117号単価表
仮設材の積込み､取卸し	基地～現場～基地	t	4.7			第 118号単価表
計						

第　48号　　1式当たり　　明細書

家屋調査

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
家屋事前事後調査		軒	1			第 121号単価表
計						

第　49号　　1式当たり　　明細書

本管調査

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
本管ＴＶカメラ調査工		m	50			第 122号単価表
報告書作成工		m	50			第 123号単価表
管きょ内洗浄工		m	34			第 124号単価表
計						

鶴岡市上下水道部雨水事務室

土木工事特記仕様書

鶴岡市公共下水道事業
雨水茅原第2幹線2006-A 号新設工事（その3）

---

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和 6 年 4 月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和 6 年 4 月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

山形県のホームページ（http://www.pref.yamagata.jp）

→ 県政情報

→ 山形県の紹介

→ 組織案内

→ 県土整備部

→ 建設企画課

→ 共通仕様書（土木工事）

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総則

1－1. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という）の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

1－2. 工事種別

工事種別は、一般土木工事（下水道工事）とする。

１－３．工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

１－４．技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。
2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

１－５．設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集（令和2年12月改訂）山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものする。

１－６．揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

１－７．沿線住民への周知

工事着工前に施工個所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関（幼稚園、保育園、デイサービス等）に通知すること。

１－８．官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了解を得て側溝を設置し境界杭（境界プレート）等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

１－９．工事支障物件について

1. 地下埋設物等

（1）現況測量時に周囲の状況（電力、NTTなどの架空電線）を確認し、埋設物に関しては、必

ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。

(2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。

(3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。

2. 施工にともなって支障となる物件(公共汚水桝、量水器など)が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

1－10. 工事現場発生品(工事現場再使用品)

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1－11. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設㈱	8:00～17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業㈱	8:00～17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀞 158-1	鶴岡建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	㈱三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海ｱｽｺﾝ共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	㈱青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	㈱渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市勝福寺字根木瀞 158-1	鶴岡建設㈱	8:00～17:00

○	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海ｱｽｺﾝ共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	㈱安藤組	8:00～17:00

3. 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1－1－12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
4. 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、砕石等）を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
6. 受注者は、建設副産物（コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等）を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
7. 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
   なお、『建設副産物情報交換システム-COBRIS-』（（財）日本建設情報総合センターWeb 版入力システム）に登録する場合は監督職員の承諾を得ること。
8. 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車輌に「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

1－12．履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1，000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書（鶴岡市，様式第10号の3）により監督職員に提出しなければならない。

1－13．工事名標示板に関する事項（安全確保関係）

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	（例）雨水幹線新設工事中
工事内容の説明	（例）雨水を流す排水路を作っています

１－14．交通安全に関する事項（交通安全管理関係）

1. 施工方法

　本工事の施工にあたっては、片側交互通行により施工するものとする。尚、交差点横断施工時は全面通行止めでの施工も可とするが、規制期間は最小限にすること。

2. 交通誘導員の配置

　交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員164名を計上している。

１－15．事業損失に関する事項（環境対策関係）

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が　生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

１－16．他工事との関連事項について（工程関係）

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

１－17．施工時期、時間、施工方法の制限事項（工程関係）

1. 本工事の作業時間帯は、8:30～17:00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。

１－18．災害時の協力体制

1. 緊急巡回

I　緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。

II　緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。

III　緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。

IV　緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1－19．事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（山形県、参考様式5）を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ（http://www.pref.yamagata.jp）
→ 県政情報
→ 山形県の紹介
→ 組織案内
→ 県土整備部
→ 建設企画課
→ 共通仕様書（土木工事）

1－20．工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。
2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

1－21．デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下「使用機器」という）については、共通仕様書　写真管理基準「2－2　撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」
（URL：https://www.cryptrec.go.jp/list.html）

に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工

事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」

（URL：https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）

を参照とすること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書　写真管理基準「2－2　撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書　写真管理基準（デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、前項に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2－4　写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6．写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

1－22．1日未満で完了する作業の積算

1.「1日未満で完了する作業の積算」（以下「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。

2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。

3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せで1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。

4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際に費用がわかる資料等）を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

5.「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

6. 1 日未満積算基準「3．判定方法　(3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1－19　施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

1－23．労働者確保に関する積算方法の施行工事

1. 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について（以下「実績変更対象間接費」という）、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書（山形県県土整備部）の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

　営　繕　費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額（土木工事標準積算基準書に基づき算出した額）における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。

（1） 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費

（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：9．45％

（2） 現場管理費に占める実績変更対象間接費

（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：1．22％

3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書（様式1）」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

１－24．不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1－1－45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

１－25．建設現場における遠隔臨場について

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場の適用

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用を選定することができる。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」・「材料確認」と「立会」を行うものである。

(なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」・「材料確認」と「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。)

(2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するものとする。下表に動画撮影用カメラ・Web 会議システム等に関する参考数値および発注者の標準的な通信環境の仕様を参考に示す。

動画撮影用のカメラに関する仕様

項目	仕様	備考
映像	画素数:640×480 以上	カラー
	フレームレート:15fps 以上	
音声	マイク:モノラル(1 チャンネル)以上	
	スピーカ:モノラル(1 チャンネル)以上	

Web 会議システムに関する仕様

項目	仕様	備考
通信回線速度	下り最大 500Mbps、上り最大 5Mbps 以上	
映像・音声	転送レート(VBR):平均 1Mbps 以上	

画質・画素数と最低限必要な通信速度

画質	画素数	最低限必要な通信速度
360p	640×480	530 kbps
480p	720×480	800 kbps
720p	1280×1080	1.8 Mbps
1080p	1920×1080	3.0 Mbps
2160p	4096×2160	20.0 Mbps

※使用する機器の機能としては仕様を満たしていても、機器の設定により、使用を満たさない場合があるため、注意すること。(例:使用する端末の画質を「高設定」にした場合は仕様を満たすが、「低設定」にした場合、仕様を満たさないことがあるため、端末画質を「高設定」にすること。)

発注者の標準的な通信環境の仕様

項目		仕様
通信プロトコル方式及びポート番号	TCP	80、443
	UDP	なし
利用環境	OS	Windows10
	ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
	アプリケーション	ZOOM、Teams、Google Meet

(3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

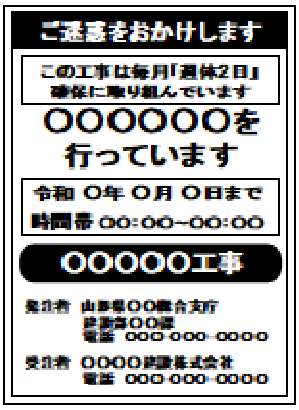
(6) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

1－26．週休2日確保工事について

1. 本工事は4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事（月単位）である。実施にあたっては「鶴岡市建設工事週休2日確保工事実施要領」に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。

2.受注者は、確保工事を実施する場合は工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は右上図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。



1－27．ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1.打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後４時以降の打合せは行わない。

2.作業依頼の配慮

１）作業内容に見合った作業期間を確保する。
２）休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。
３）受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3. ワンデーレスポンスの再徹底
1）問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。
4. 留意事項
1）緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。
2）設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

１－28．その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。 了解を得ずに増工（増額）したものについては変更の対象としない。
2. 当初工程表より現場着工時期（実作業期間）に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に 追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業 退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

第2章 土　工

２－１．残土受入地

残土受入地は鶴岡市覚岸寺地内（運搬距離 L=2.0 ㎞）を予定している。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

３－１．配　合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書（参考資料） レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工　種	区分番号	呼び強度	摘　要
排水施設工	②	18N/mm^2	18-8-40
集水桝工、隔壁工	⑨ー2	21N/mm^2	21-12-25

第2編 材料編

第1章 一般事項

１－１．指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区　分	確 認 材 料 名	摘　要
函渠工	耐震性ボックスカルバート 1800×1200	T-25

１－２．工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

１－３．納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある（例えば二次製品、路盤材料の入替えなど）。

第2章 土木工事材料

２－１．再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材料名	規格	使用箇所	摘要
再生クラッシャーラン	80 ㎜以下	基礎砕石	
〃	40 ㎜以下	下層路盤	
再生改良土	―	路床	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As20	表層	

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破砕、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の砕石、ズリ、コンクリートを製造し破砕したもの等）が混合されていない状態のものをいう。
2. 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生砕石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。

・修正 CBR

下層路盤材　修正 CBR 値　40％以上

歩道路盤材　修正 CBR 値　20％以上

２－２．購入土

購入土は、CBR12％以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

２－３．セメント

工事に使用するセメントは、高炉セメント（JIS R5211）B 種とし、その種類については監督職員の承諾を得なければならない。

２－４．セメントコンクリート製品等

本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。

防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。

２－５．建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等
砕石	RC-40	庄内地区
砕石	M-40	庄内地区
土砂	山砂	庄内地区

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

１－１．段階確認

共通仕様書　第 3 編　共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期
準備工	丁張り確認	丁張り完了時
函渠工	基準高確認	据付完了時
集水桝工	配筋確認	配筋完了時
路盤工	上層路盤	表層施工前
〃	下層路盤	上層路盤施工前
その他	監督職員が指示するもの	随時

１－２．工事中の安全確保

土木工事にあっては、共通仕様書　第 1 編　1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第 496 号、令和元年 9 月 2 日）を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

第2章 一般施工

２－１．濁水処理

1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。
2. 「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者（受注業者）は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を把握し処理業者に提供することが必要である。

２－２．舗装工

道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなってはならない。

２－３．瀝青材料の散布

プライムコートの使用量は1．2 L/㎡を標準とする。

タックコートの使用量は0．4 L/㎡を標準とする。

２－４．工事現場の現場環境改善費

1. 本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。
   この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。
2. 現場環境改善を行う内容は、・・・・
   ●現場環境改善を行う内容は、下記の4計上費目ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の計5つの内容を選定のうえ、実施するものとする。
   ●現場環境改善を行う内容は、○○関係について○○○を実施するものとするほか、下記の4計上費目ごとに1内容ずつの計5つの内容を選定のうえ、実施するものとする。

計上費目	実施する内容（率計上分）

現場環境改善 （仮設備関係）	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
現場環境改善 （営繕関係）	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化、3. デザインボックス（交通誘導員待機室） 4. 現場休憩所の快適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 （安全関係）	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）、3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）、9. 社会貢献

3. 受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。
4. 以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意すること。
   (1) 仮設関係：仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット
   (2) 営繕関係：デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置
   (3) 安全関係：バリケード、転落防止柵

2－5. 快適トイレの設置

1. 内容

受注者は、現場に以下の（1）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。なお、快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

◆快適トイレに求める機能
(1) 洋式（洋風）便器
(2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
(3) 臭い逆流防止機能
(4) 容易に開かない施錠機能
(5) 照明設備
(6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5㎏以上とする）
◆付属品として備え付けるもの
(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

（9） サニタリーボックス

（10） 鏡と手洗器

（11） 便座除菌クリーナー等の衛生用品

◆推奨する仕様と付属品

（12） 内寸法900×900㎜以上（面積ではない）

（13） 擬音装置（機能を含む）

（14） 着替え台

（15） 臭気対策機能の多重化

（16） 室内温度の調整が可能な設備

（17） 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用について、当初設計では計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す資料を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、設計変更時に見積書を提出するものとする。上記（1）～（11）の費用については従来品相当額を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限については、男女別で各1基ずつ2基／●工事（施工箇所）までとする。また、運搬費は、共通仮設費（率）に含むものとし、2基／●工事（施工箇所）よりも多く設置する場合や上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）での支出を認めるものとして、別途計上は行わない。

一 般 明 示 事 項

１－１．提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第３条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

１－２．施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

ただし、維持工事や小規模工事（請負金額１３０万円以下）においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

１－３．環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
函渠工（オープンシールド工法）					
準備工					
	舗装版切断	アスファルト舗装版 t=15cm以下	m	120	119.1
	舗装取壊し	アスファルト舗装版 t=15cm以下	㎡	130	132.9
	殻運搬処理	アスファルト殻 日本海アスコン	㎥	7	6.6
作業土工					
	（到達立坑部） 床掘	バックホウ 0.8㎥	㎥	50	47.2
	埋戻し		㎥	30	27.0
	埋戻し材料費	地山 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	㎥	40	36.9
	残土運搬	往復 流用土 L=2.0km	㎥	40	42.3
	残土運搬処理	L=2.0km	㎥	230	229.0
掘進工					
掘進					
切羽作業工					
	直線切羽作業工	□-1.8×1.2	m	15	15.15
	初期切羽作業工	□-1.8×1.2	m	10	10.00
	曲線切羽作業工	R=(50m未満～30m以上) □-1.8×1.2	m	23	23.46

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
坑内作業工					
	直線坑内作業工	□-1.8×1.2	m	15	15.15
	初期坑内作業工	□-1.8×1.2	m	10	10.00
	曲線坑内作業工	R=(50m未満～30m以上) □-1.8×1.2	m	23	23.46
坑外作業工					
	直線坑外作業工	□-1.8×1.2	m	15	15.15
	初期坑外作業工	□-1.8×1.2	m	10	10.00
	曲線坑外作業工	R=(50m未満～30m以上) □-1.8×1.2	m	23	23.46
裏込注入資機材費					
裏込注入機材設置工					
	裏込注入機材設置	設置	回	1	1
	裏込注入機材撤去	撤去	回	1	1
裏込注入材料					
	裏込注入材料	割増注入量	㎥	57	57.4
裏込注入機材			式	1	1
	裏込注入プラント	手動作液 (B液ﾀﾝｸ含む)	台	33	33
	＜裏込注入機械＞				
	Ａ液注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	36L/min、11kW	台	33	33
	Ｂ液注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	4L/min、1.5kW	台	33	33

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
	注入ﾎﾟﾝﾌﾟ制御盤	坑内遠隔盤含む	台	33	33
	Ａ液電磁流量計	50A、変換器付	台	33	33
	Ｂ液電磁流量計	10A、変換器付	台	33	33
	圧力測定装置		台	33	33
	＜配管材＞				
	Ａ液配管	鋼管、2ｲﾝﾁ、6m	本	330	330
	Ｂ液配管	鋼管、1ｲﾝﾁ、6m	本	330	330
	Ａ液配管ｼﾞｮｲﾝﾄ	2ｲﾝﾁ ﾜﾝﾀｯﾁｼﾞｮｲﾝﾄ	個	363	363
	Ｂ液配管ｼﾞｮｲﾝﾄ	1ｲﾝﾁ ﾜﾝﾀｯﾁｼﾞｮｲﾝﾄ	個	363	363
裏込注入関連部品・消耗品			式	1	1
	特殊二重管		基	33	33
	ｸﾘｰﾅｰ投入口		基	33	33
	ｸﾘｰﾅｰ回収口		基	33	33
	注入口廻り部品		個	33	33
	ﾎﾟﾝﾌﾟ廻り部品		個	33	33
	ｽﾎﾟﾝｼﾞｸﾘｰﾅｰ	配管延長10mに1個	個	5	5
	坑内監視盤用信号線	1巻当り100m	巻	1	1
	諸雑費		㎥	23	23.3

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
機械器具損料					
機械器具損料(1)		油圧機器	式	1	1
	ｼｰﾙﾄﾞｼﾞｬｯｷ	1000kN、1200st	台	198	198
	中折れｼﾞｬｯｷ	1000kN、400st	台	198	198
	ｽﾗｲﾄﾞｼﾞｬｯｷ	500kN、1000st	台	132	132
	けん引ｼﾞｬｯｷ	200kN、200st	台	132	132
	油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ	11kW	台	66	66
	操作盤(A)	6S	台	66	66
	操作盤(B)	4S	台	99	99
	油圧ﾎｰｽ	L=10m	m	49	48.6
	油圧ﾎｰｽ	L=5m	m	49	48.6
	油圧ﾎｰｽ	L=3m	m	49	48.6
	油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ作動油	耐摩耗性型 2台	m	49	48.6
機械器具損料(2)		重機	式	1	1
	掘削用ﾊﾞｯｸﾎｳ	標準型 山積み0.28㎥	台	33	33
	埋戻し用ﾊﾞｯｸﾎｳ	標準型 山積み0.13㎥	台	33	33
	ﾀﾝﾊﾟ	60～80kg	台	33	33
	発動発電機	油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ用 60kVA	台	33	33
	発動発電機	裏込ﾌﾟﾗﾝﾄ他用 60kVA	台	33	33
	水中ﾎﾟﾝﾌﾟ	φ50mm、0.75kW	台	33	33

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
	水圧ｻﾎﾟｰﾄ	基本料 770～1300mm	本	20	20
	水圧ｻﾎﾟｰﾄ	賃料 770～1300mm	本	660	660
	水圧ｻﾎﾟｰﾄ	基本料 1500～2200mm	本	20	20
	水圧ｻﾎﾟｰﾄ	賃料 1500～2200mm	本	660	660
	水圧手動ﾎﾟﾝﾌﾟ	賃料	台	33	33
	敷鉄板	賃料 22×1524×3048	枚	27	27
	敷鉄板	整備費 22×1524×3048	枚	27	27
機械器具損料(3)		重機燃料	式	1	1
	軽油	1.2号 （ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油）	ℓ	1,465	1,465.2
	ガソリン	ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ	ℓ	11	10.8
ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機(NOS Ⅰ型)費					
	ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機	損料	台	1	1
	ボルト・ナット等	F10T M22×80 585g/組	組	360	地中残置開始のみ　360
	スクラップ	ボルト・ナット ヘビーH1 特級Ａ	t	0.21	0.211
仮設備工					
	ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機 組立据付工	地中残置部 開始時	箇所	0.3	0.3
	ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機 解体撤去工	NOS Ⅰ型	箇所	1	1

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
	油圧機器工	設置	箇所	1	1
	油圧機器工	撤去	箇所	1	1
	ｵｰﾌﾟﾝｼｰﾙﾄﾞ機 地中残置工	NOS Ⅰ型 撤去	箇所	1	1
	覆工板　撤去	1.0m×3.0m×0.2m 640.0kg/枚	㎡	24	24
	スクラップ	溝形鋼 ヘビーH1 特級Ａ	t	0.66	0.66
函体費					
函体材料費		1800B×1200H			
	ボックスカルバート グラウト孔 有	1500L 標準品 4200kg/個	個	16	16
	ボックスカルバート グラウト孔 有	1126L 短尺品 3150kg/個	個	1	1
	ボックスカルバート グラウト孔 有	739L 短尺品 2070kg/個	個	1	1
	ボックスカルバート グラウト孔 有	747/709L 片斜品 2040kg/個	個	17	17
	ボックスカルバート グラウト孔 無	747/709L 片斜品 2040kg/個	個	15	15
	ずれ止め鋼材 溝形鋼	[-9×150×75×850 24.0kg/m	本	40	（前工事より流用）　40
	ボルト・ナット	M-20×50	組	800	800
	スクラップ費	ヘビーH1 特級Ａ	t	1.0	1.014
目地・モルタル工					
	目地	TB目地材	箇所	50	50
	モルタル	無収縮モルタル	函体	50	50

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
空伏工					
	空伏工（到達部）		m	0.8	0.8
	基礎コンクリートエ	18-8-40 人力打設	㎥	0.4	0.44
裏込注入廃材処理工					
裏込注入廃材処理工					
濁水処理装置					
濁水処理装置 設置工			回	1	1
濁水処理装置 撤去工			回	1	1
濁水処理設備械器具損料			式	1	1
	濁水処理装置	最大処理能力 3m3/時	台	33	33
	中和処理装置	炭酸ｶﾞｽ式 処理量5m3/時	台	33	33
	水中ﾎﾟﾝﾌﾟ ﾃｰﾙ部→原水槽用	原水槽→濁水処理設備 φ50mm 全揚程5m	台	66	2台　66
	水槽(一般工事用) 原水槽用	鋼管製簡易水槽 5㎥	槽	33	33
	水槽(一般工事用) 処理水槽用	鋼管製簡易水槽 5㎥	槽	33	33
	A液配管 返送用配管	STK鋼管 2ｲﾝﾁ×6m 両端Sｶﾗｰ付	本	330	330
	A液配管材ｼﾞｮｲﾝﾄ 返送用配管	2ｲﾝﾁ ﾜﾝﾀｯﾁｼﾞｮｲﾝﾄ S1	本	363	363

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
濁水処理材料費			式	1	1
	無機凝集剤		kg	20	20
	高分子凝集剤		kg	15	15
	液化炭酸	ﾎﾞﾝﾍﾞ	kg	30	30
	希硫酸	希硫酸75%	kg	20	20
泥土運搬処理費					
	泥土運搬	バキューム車	㎥	2	1.5
	建設汚泥処分費		㎥	2	1.5
特許料					
	特許実施料	1800×1200 L=48.611m	空㎥	103	102.8

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
排水施設工					
作業土工					
	床掘	BH 0.28㎥	㎥	10	12.2
	埋戻し		㎥	7	7.1
	残土運搬	往復 流用土 L=2.0km	㎥	8	7.8
	残土運搬処理	L=2.0km	㎥	4	4.4
大型フリューム工					
	基礎砕石	RC-80 t=15cm	㎡	10	9.8
	基礎型枠		㎡	0.6	0.6
	コンクリート	均しコンクリート 18-8-40	㎥	2	2.0
	大型フリューム 据付	2500×1400×2000 W=3810kg/個	個	1	1
	大型フリューム 据付	2500×1400×1685/605 W=2181kg/個	個	1	1
遠心ボックスカルバート工					
遠心ボックスカルバート φ300					
	基礎砕石	RC-80 t=10cm	㎡	1	1.14
	遠心ボックスカルバート	φ300	m	2	1.90
	コア削孔 横穴	t=100 φ300	箇所	1	1

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
遠心ボックスカルバート φ400					
	基礎砕石	RC-80 t=10cm	㎡	1	0.98
	遠心ボックスカルバート	φ400	m	1	1.40
	コア削孔	t=150 φ400	箇所	1	1
ボックスカルバート工					
ボックスカルバート B400-H400					
	ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	W=744kg/本 B400-H400	m	3	3.0
	コア削孔 横穴	t=100 φ401～600	箇所	1	1
ボックスカルバート B600-H600					
	ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	W=1440kg/本 B600-H600	m	9	8.75
集水桝工					
集水桝工	SM-B500-L500-H700				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40	箇所	1	0.37 ㎥/箇所　1
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	T-14 500×500用	組	1	1
集水桝工	SM-B3200-L1500-H1660				
	基礎砕石	RC-80 t=15cm	㎡	8	7.98

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
	均しコン型枠		㎡	1	1.18
	コンクリート	均しコンクリート 18-8-40	㎥	0.8	0.80
	型枠	鉄筋構造物	㎡	27	27.19
	ｺﾝｸﾘｰﾄ	鉄筋構造物 21-12-25	㎥	3	3.49
	鉄筋加工組立	SD345 D16	t	0.08	0.08
	鉄筋加工組立	SD345 D13	t	0.15	0.15
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	T-14（4分割） 3200×1500用	組	1	1
	H形鋼 亜鉛メッキ	H-125×60 ×6×8　13.2kg/m	t	0.04	0.04
	H形鋼 亜鉛メッキ	H-150×150 ×7×10 31.1kg/m	t	0.11	0.11
	亜鉛メッキ	HDZ T77	t	0.14	0.14
	足掛け金物	SW-30	本	4	4
隔壁工					
	ｺﾝｸﾘｰﾄ	鉄筋構造物 21-12-25	㎥	0.5	0.53
	型枠	鉄筋構造物	㎡	4	3.5
	鉄筋	SD345 D13	t	0.02	0.016
	コンクリート削孔	φ16mm L=100mm	孔	18	18
	樹脂カプセル	R-12N 13×83 ガラス管	本	18	18

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
撤去工					
作業土工					
	床掘		㎥	30	26.5
	埋戻し		㎥	40	35.0
	残土運搬	往復 流用土	㎥	30	26.5
取壊し工					
	コンクリート切断 ウォールソー	鉄筋構造物 t=15cm	m	4	4.23
	ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊し	鉄筋構造物	㎥	12	11.7
	殻運搬処理	鉄筋コンクリート殻	㎥	12	11.7
敷砂利工					
	敷砂利	再生クラッシャーラン RC-40 t=5cm	㎥	1	1.30
防護柵工					
	ガードパイプ撤去	Gp-C-2E 土中用	m	10	10.0
	ガードレール設置	Gr-C-4E 土中用	m	13	13.0

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
舗装復旧工					
舗装工					
	下層路盤工	RC-40　t=17cm	㎡	85	84.5
	下層路盤工	RC-40　t=35cm	㎡	64	63.9
	路盤工	RC-40　t=10cm	㎡	6	6.2
	上層路盤工	M-40　t=15cm	㎡	150	149.6
	表層工	再生密粒度AS20 t=5cm	㎡	150	149.6
	表層工	再生密粒度AS13 t=3cm	㎡	6	6.2
仮設工					
交通管理工					
	交通誘導員	交通誘導員Ｂ	式	1	1

設　計　数　量　調　書

ANO.20付近～ANO.22+10付近
令和７年度　雨水茅原第２幹線2006-A号新設工事（その３）

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	摘　要
共通仮設費					
運搬費					
仮設材運搬費					
	敷鉄板 水圧サポート等	22×1524×3048 1100～1800mm	t	29.1	29.13
建設機械運搬費					
	往路 オープンシールド機	NOS Ⅰ 型 L=523km（参考）	回	1	（大型トラック 2台分） 1
	復路 オープンシールド機	NOS Ⅰ 型 L=523km（参考）	回	1	（大型トラック 4台分） 1

数量総括表

上段：当初
下段：変更

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	計算式	摘要
管路(単独)								
	管きょ工(開削)							
		管路土工						
			管路掘削	掘削 BH0.28m3	m3	10	10.7 = 10.7	
				機械掘削工 BH0.28m3	m3	8	7.6 = 7.6	
			管路埋戻	機械投入埋戻工　埋戻部 BH0.28m3　再生改良土	m3	10	12.6 = 12.6	
			発生土処理	発生土運搬工　4tDT L=2.0km	m3	6	7.6-1.9 = 5.7	
				発生土運搬工　4tDT L=6.7km　現場～改良センター	m3	2	12.58-10.68 = 1.9	
				土砂等運搬　4tDT L=6.7km　現場～改良センター	m3	10	10.7 = 10.7	
				建設発生土処理 水分50.0未満	m3	10	12.6 = 12.6	
		管布設工						
			リブ付硬質塩化ビニル管	リブ付硬質塩化ビニル管布設工 VRφ200	m	12	11.5 = 11.5	
			埋設表示	下水道用埋設表示シート 2倍　150mm×50m	m	12	11.5 = 11.5	
				埋設表示テープ B30mm×t0.15mm±0.03mm	m	16	16.1 = 16.1	
		管基礎工						
			砕石基礎	砕石基礎設置　機械施工 RC-40　t=15cm	m3	2	1.6 = 1.6	
				(材料)砕石　RC-40	m3	2	1.64*1.20 = 2.0	
		管路土留工						
			建込簡易土留	建込工　掘削深2.0m以下	m	12	11.8 = 11.8	

数量総括表

上段：当初
下段：変更

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	計算式	摘要
				引抜工　掘削深2.0m以下	m	12	11.8　= 11.8	
				建込簡易土留　賃料	式	1	1.0　= 1.0	
		開削水替工						
			開削水替	ポンプ運転　口径50mm	式	1	1.0　= 1.0	
				商用電源　常時排水				
	マンホール工							
		小型マンホール工						
			小型マンホール	小型マンホール工(基礎材含)　底部会合	箇所	2	2.0　= 2.0	
				VUφ300　マンホール深2.0m以下				
				小型マンホール工　加算額	箇所	2	2.0　= 2.0	
				鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)				
				(材料費)　保護鉄蓋	組	2	2.0　= 2.0	
				T-25　φ300用　沈下防止板含　市章入　デザイン型				
		マンホール工						
			既設マンホール	底部工　1号	箇所	1	1.0　= 1.0	
	付帯工(開削)							
		舗装撤去工						
			舗装版切断	舗装版切断	m	24	23.7　= 23.7	
				As　15cm以下				
			舗装版破砕	舗装版破砕	m2	11	11.2　= 11.2	
				As　10cm以下				
			殻運搬処理	殻運搬･処理　As	m3	0.6	0.6　= 0.6	
				L=10.5km　現場～日本海アスコン				
		舗装仮復旧工						
			下層路盤	RC-40　t=17cm	m2	11	11.2　= 11.2	
			上層路盤	M-40　t=15cm	m2	11	11.2　= 11.2	

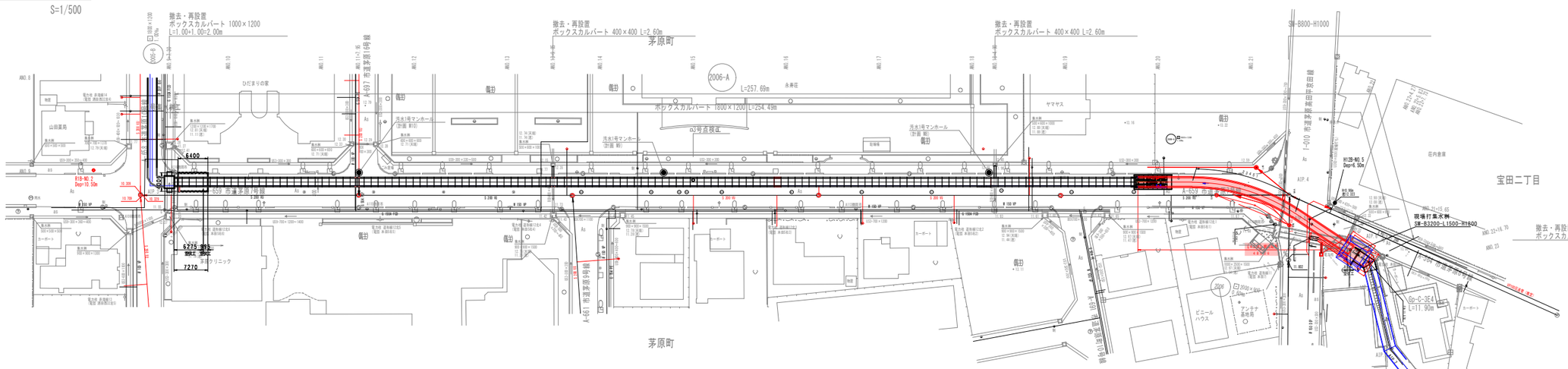
数量総括表

上段：当初
下段：変更

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	計算式	摘要
	仮設費							
		交通管理工						
			交通誘導員	交通誘導員B	人	4	2*2 = 4.0	
共通仮設								
	共通仮設費							
		運搬費						
			仮設材運搬	仮設材運搬(往路)	式	1	1.0 = 1.0	
				仮設材運搬(復路)	式	1	1.0 = 1.0	
				仮設材積込・取卸 基地～現場	式	1	1.0 = 1.0	
				仮設材積込・取卸 現場～基地	式	1	1.0 = 1.0	
		事業損失防止施設費						
			工損調査	工損調査	軒	1	1.0 = 1.0	
		技術管理費						
			テレビカメラ調査	本管調査及び報告書作成 新設管	m	50	50.0 = 50.0	
				管きょ内洗浄工 既設管	箇所	34	34.0 = 34.0	

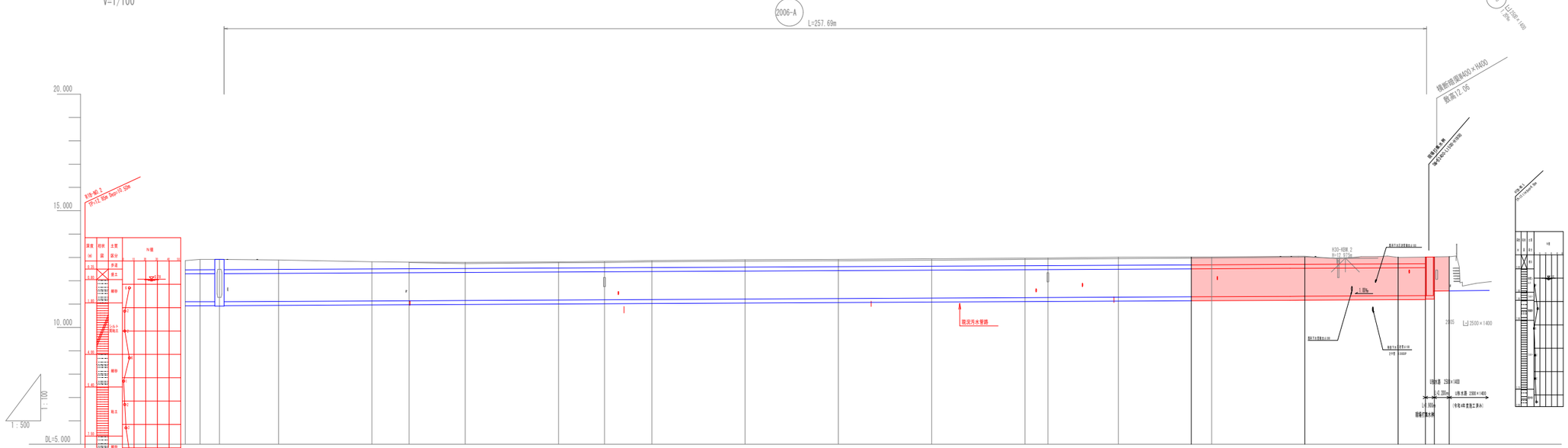
平面図

S=1/500



断面図

H=1/500
V=1/100



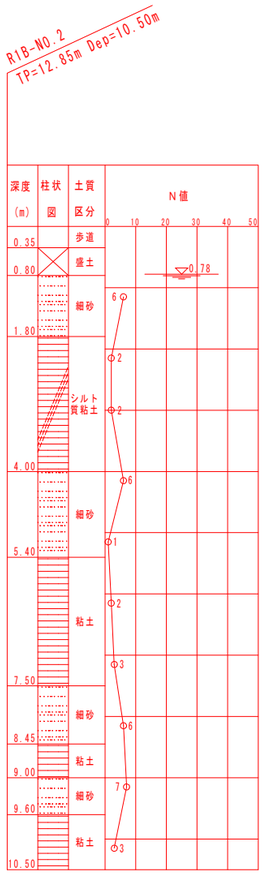
| | | |

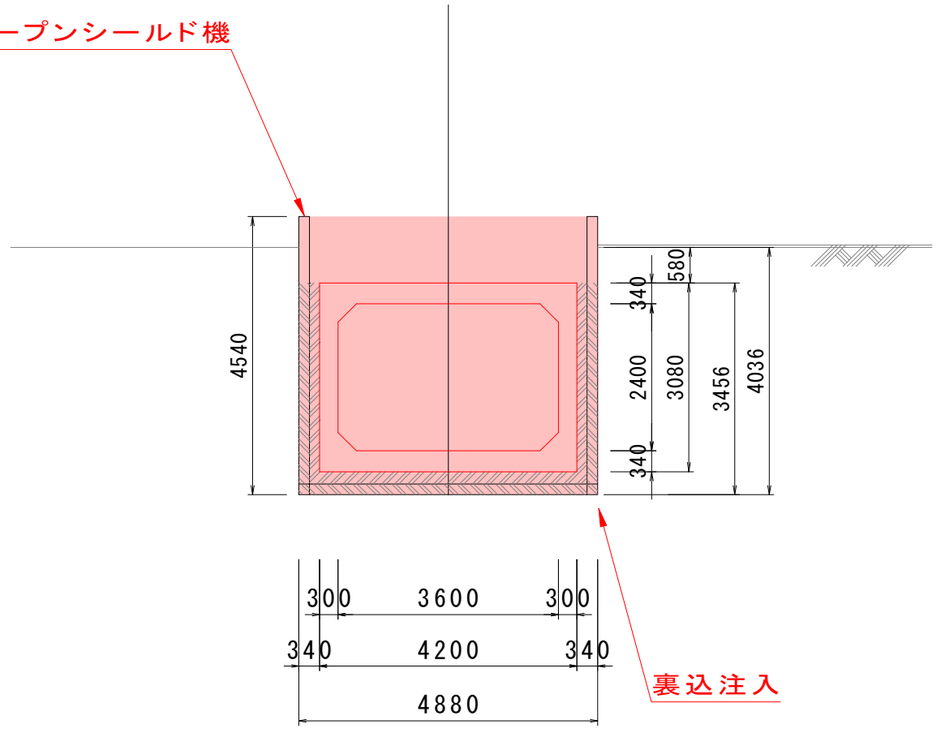
オープンシールド工法(NOS I 型：裏込注入タイプ)施工断面図　S=1:50

□-1800×1200×1500

標準断面図
1:50

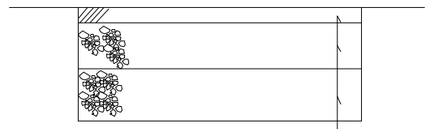
No. 21





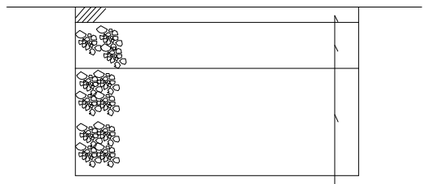
舗装構成 S=1:10

市道茅原7号線



再生密粒度アスコン20	t=50
粒度調整砕石M-40	t=150
再生砕石RC-40	t=170

市道茅原高田平京田線,市道茅原6号線



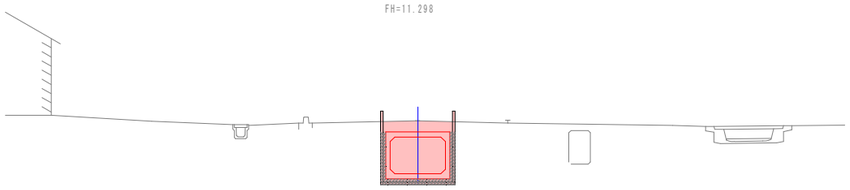
再生密粒度アスコン20	t=50
粒度調整砕石M-40	t=150
再生砕石RC-40	t=350

実　施

令　和　7　年　度		図　番	13 葉 2
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河川名	茅原第2幹線2006-A号		
位　置	鶴岡市茅原町地内		
標準断面図			1 葉 1
縮　尺　図　示	鶴　岡　市		

ANO.21

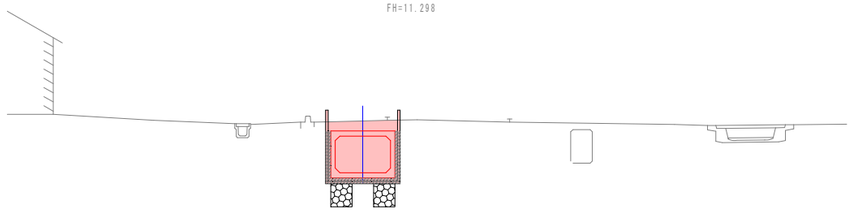
GH=13.01
FH=11.298



DL=10.00

ANO.20

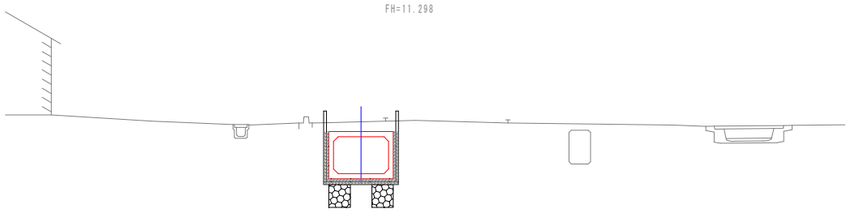
GH=13.01
FH=11.298



DL=10.00

ANO.19+15.65

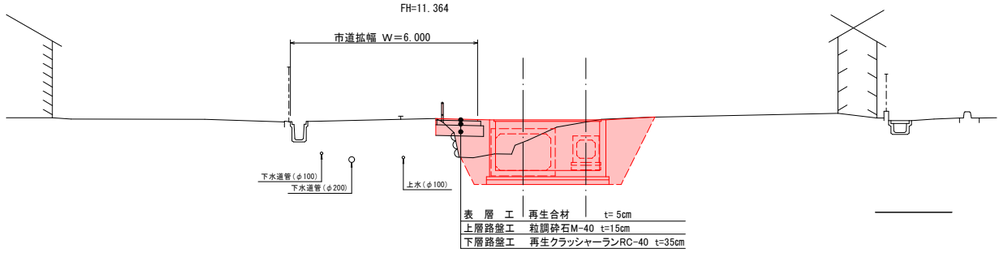
GH=13.01
FH=11.298



DL=10.00

ANO.22+5.83

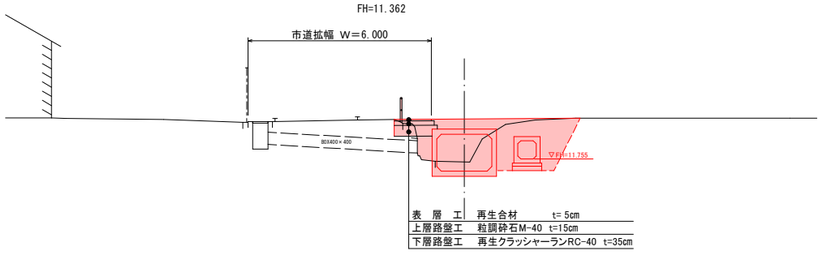
GH=12.29
FH=11.364



DL=10.00

ANO.22+4.27

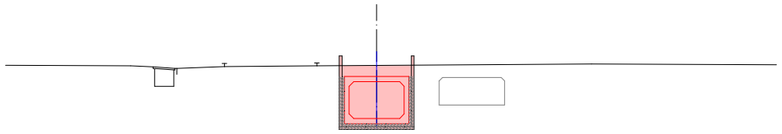
GH=11.66
FH=11.362



DL=10.00

ANO.22

GH=13.01
FH=11.354



DL=10.00

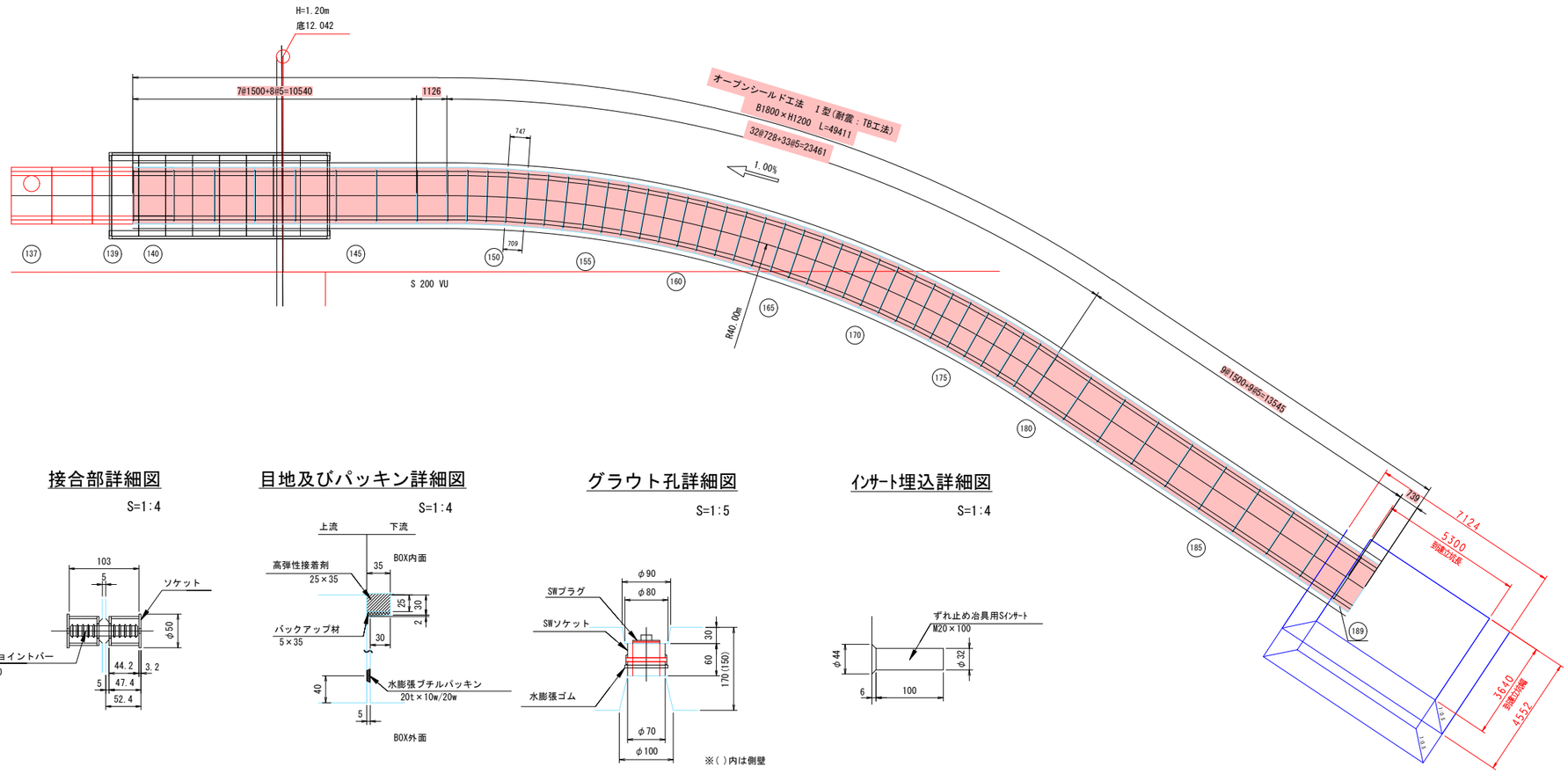
ANO.20+19.39

実 施

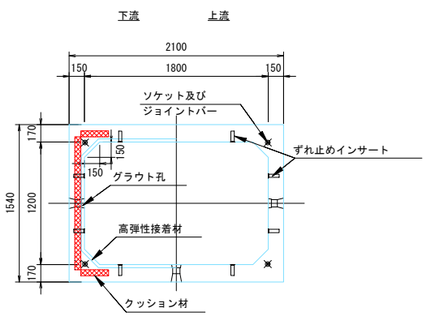
令 和 7 年 度		図 番	13 葉 3
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河 川 名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
断面図			1 葉 1
縮 尺	1:100	鶴 岡 市	

ボックスカルバート割付図(TBBox1800×1200（NOS工法）)

平 面 図　S=1:100



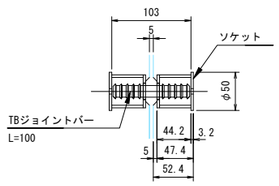
断 面 図　S=1:30



※直線部は側壁にずれ止め、
曲部は頂底にずれ止めを設ける。

接合部詳細図

S=1:4



目地及びパッキン詳細図

S=1:4

グラウト孔詳細図

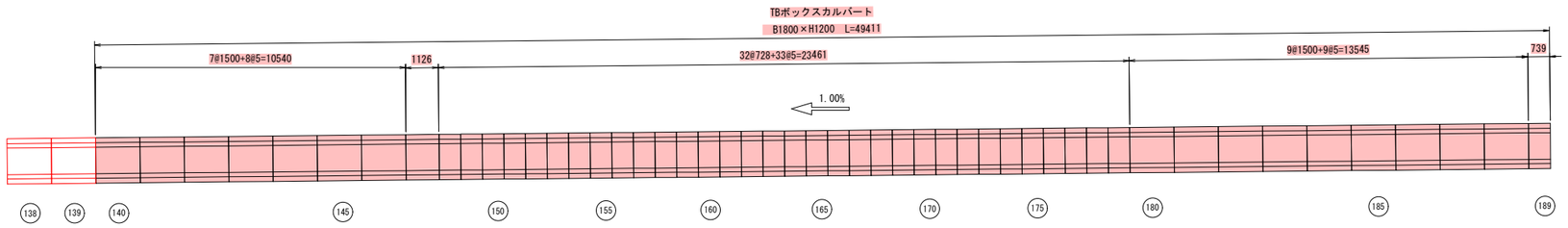
S=1:5

※( )内は側壁

インサート埋込詳細図

S=1:4

側 面 図　S=1:100



ボックスカルバート 数量表

割付No.140～189

内幅B×内高H(mm)	製品長(mm)	個 数	ｸﾞﾗｳﾄ孔	参考重量(kg)	割付番号	備考
TB 30	1500L	16	有	4200	140～146, 180～188	標準品
1800B×1200H	1126L	1	有	3150	147	短尺品
(NOS施工, I型)	739L	1	有	2070	189	短尺品
σck=50N/mm²	747/709L	16	有	2040	148, 150, 152, 154, 156, 158 160, 162, 164, 166, 168, 170 172, 174, 176, 178	片斜品
	747/709L	15	無	2040	149, 151, 153, 155, 157, 159 161, 163, 165, 167, 169, 171 173, 175, 177	片斜品
	747/709L	1	有	2040	179	片斜品
合 計		50				

※R部(No.148～179区間)の　偶数No.及びNo.179に　グラウト孔を設ける。

1800B×1200H(NOS、TB30)コーキング工法材料表

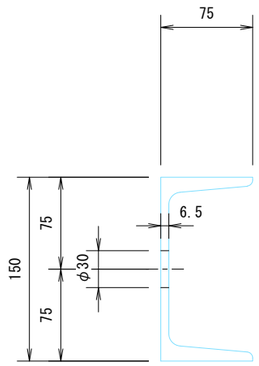
（１目地当たり）

サ イ ズ	名 称	規 格	単位	数量	備考
1800B×1200H	ずれ止め治具用ｲﾝｻｰﾄ	JL-SインサートM20×100(同等品)	個	１６	
	SWソケット	２"	個	３	
	SWプラグ	２"	個	３	
	クッション材		㎥	０．２２	
	ＴＢボンド	高弾性接着剤	ｋｇ	５．６５	
	バックアップ ﾞ 材	ポリエチレン　５×３５	ｍ	６．２１	
	ＴＢジョイントバー	ポリマー　φ１９　Ｌ＝１００	個	４	
	ソケット	ＳＳ４００	個	８	
	ジョイントパッキン	７０×７０－φ４０　ｔ＝２０（フルチテーフ ﾞ 付）	個	４	
	ＴＢフ ﾞ レート	２０×１００　ｔ＝５（フルチテーフ ﾞ 付）	個	４	
※割付Ｎｏ．１４０～１８９区間　全目地　＝　５０目地					

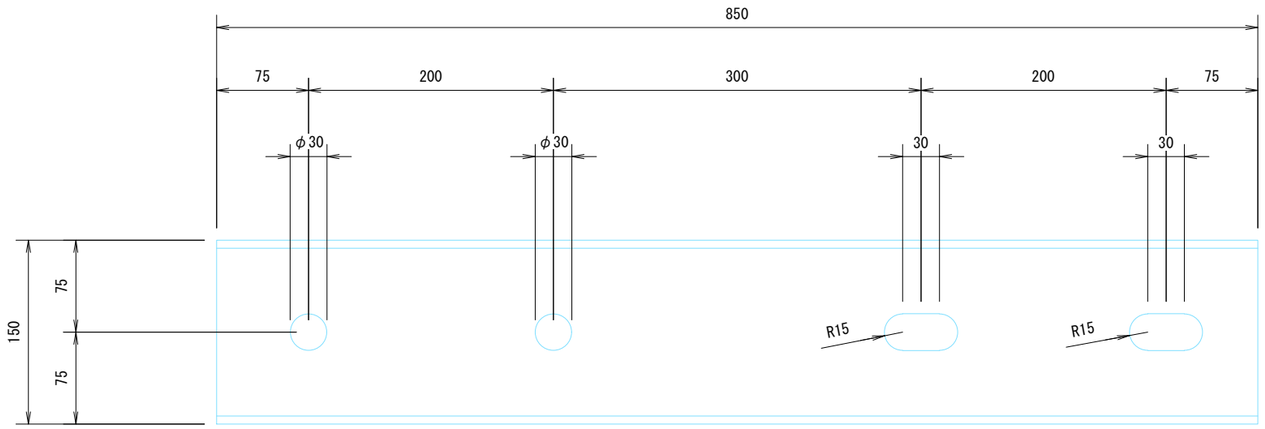
実　施

令 和 7 年 度	図 番	13 葉 4	
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河川名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
RCボックスカルバート割付図　1 葉 1			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

側面図　1/5



正面図　1/5



実　施

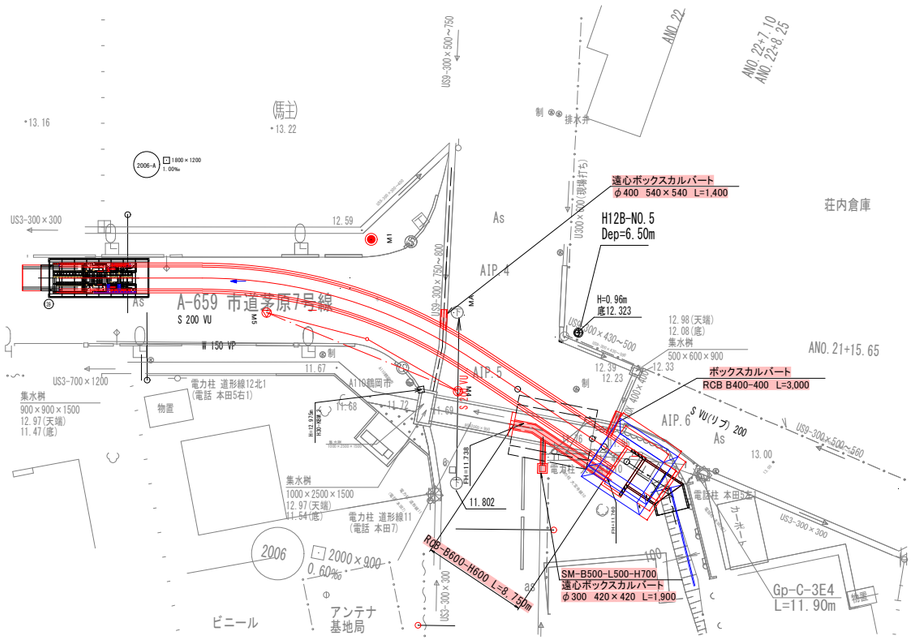
令　和　7　年　度		図　番	13 葉 5
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河川名	茅原第2幹線2006-A号		
位　置	鶴岡市茅原町地内		
ズレ止め鋼材詳細図　1 葉 1 C-150×75×6.5			
縮　尺　図　示	鶴　岡　市		

排水施設構造図(1/2)

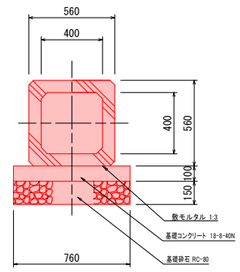
S=1:20

平面図

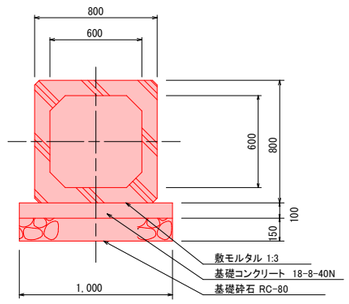
S=1:250



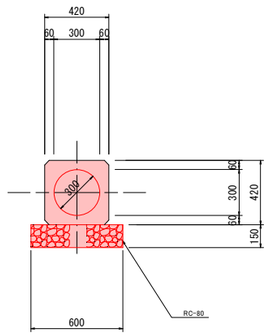
RCB-B400-H400



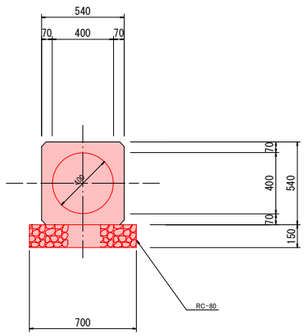
RCB-B600-H600



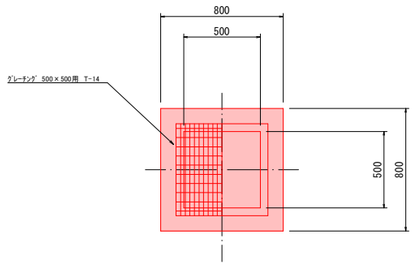
遠心ボックスカルバート
φ300 420×420



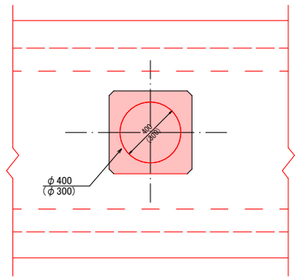
遠心ボックスカルバート
φ400 540×520

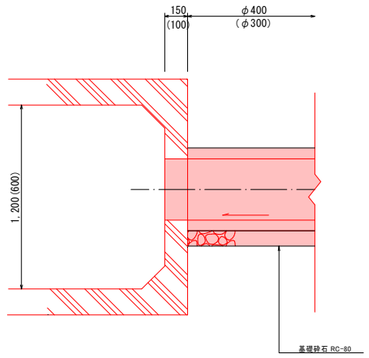


SM-B500-L500-H1050(700)



遠心ボックスカルバート接続図





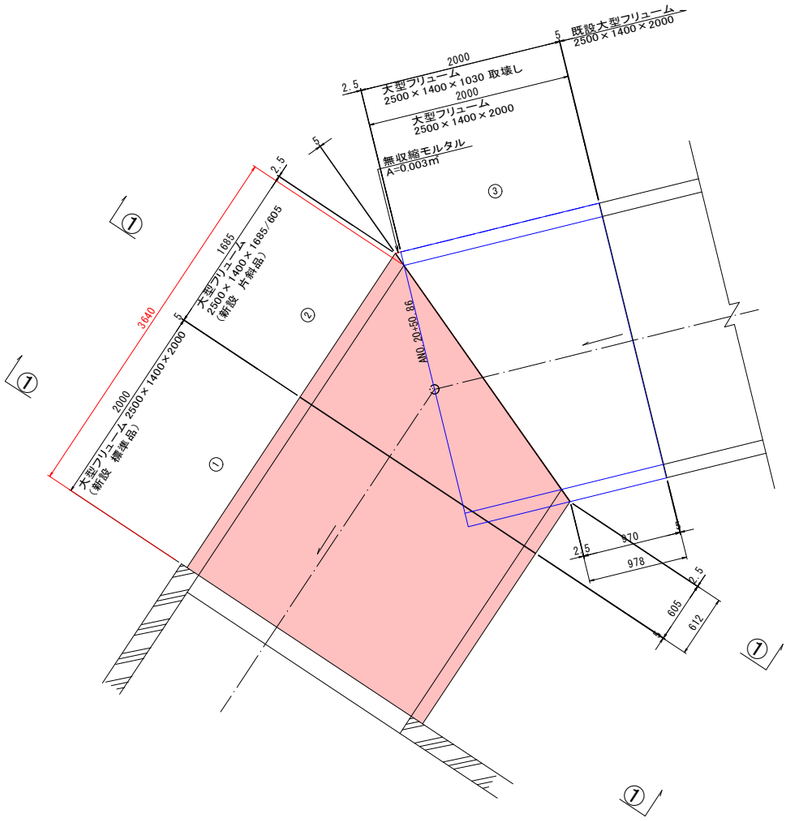
実　施

令和 7 年度		図番	13 葉 6
工事名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河川名	茅原第2幹線2006-A号		
位置	鶴岡市茅原町地内		
排水施設構造図			2 葉 1
縮尺	図示	鶴岡市	

排水施設構造図(2/2)

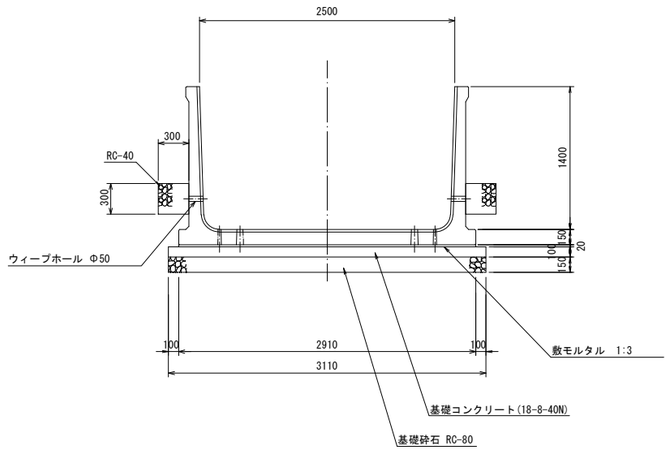
S=1:30

水 路 配 置 図



① － ①

鉄筋コンクリート大型フリューム



大型フリューム 数量表

内高H×内幅B(mm)	番 号	製品長(mm)	個 数	参考重量(kg)	備 考
1400H×2500B	①	2000	1	3810	標準品
L=2000 3,810kg/本	②	1685/605	1	2181	片斜品
	③	2000/970	1	1970	既設(切断) 片斜品
合 計			2 個		

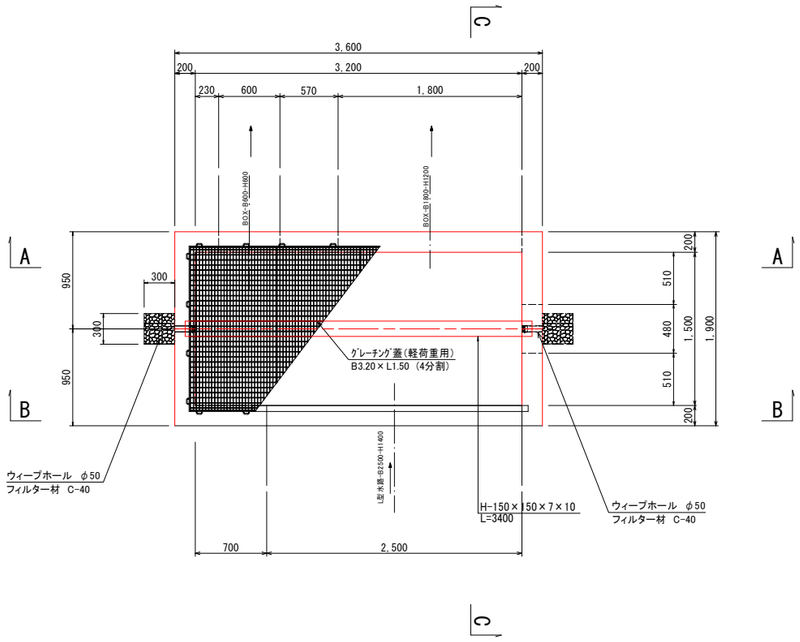
実 施

令 和 7 年 度		図 番	13 葉 7
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河 川 名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
排水施設構造図 2 葉 2			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

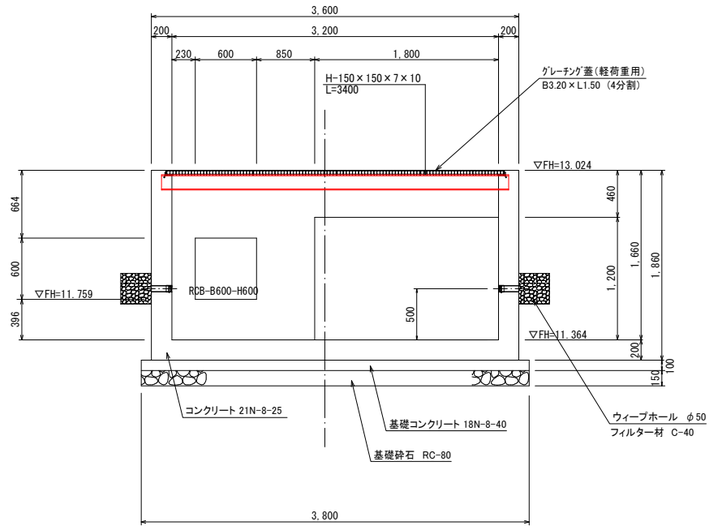
現場打集水桝構造図(1/3)

SM-B3200-L1500-H1660　S=1:30

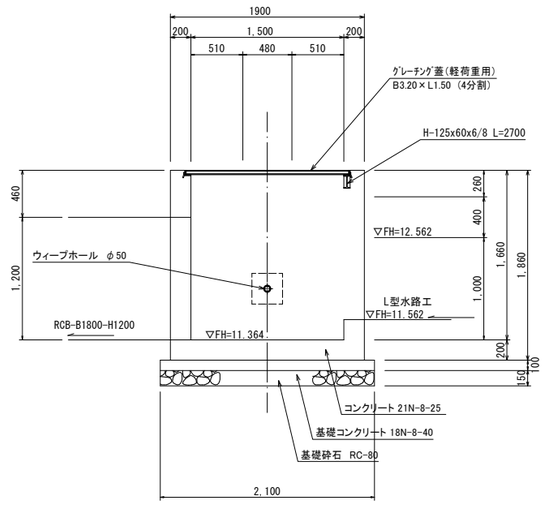
平 面 図



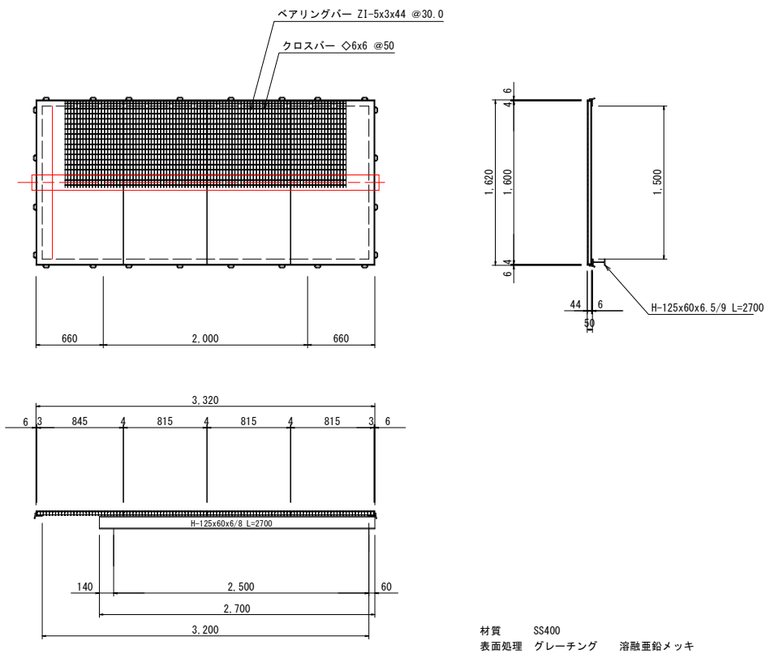
A － A



C － C



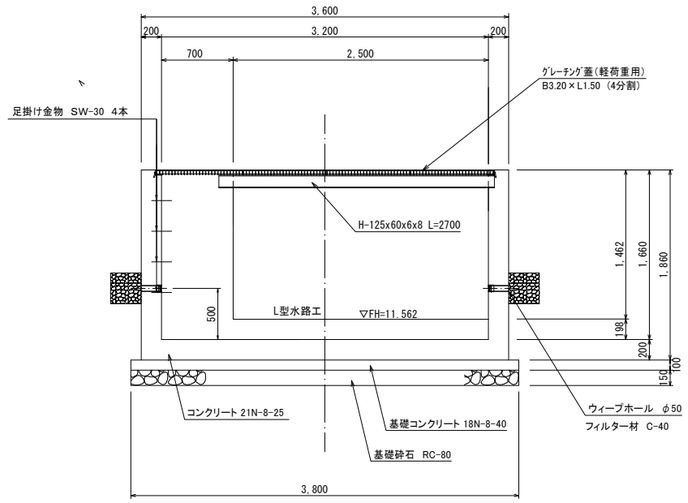
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋詳細図図　S=1:30



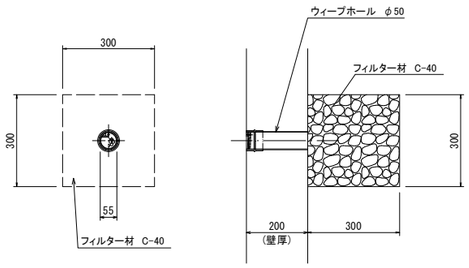
材質　SS400
表面処理　グレーチング　溶融亜鉛メッキ

※グレーチングの耐荷荷重は、700kg/m2を想定している。
自動車荷重を想定していない。

B － B



ｳｨｰﾌﾟﾎｰﾙ構造図　S=1:10



実　施

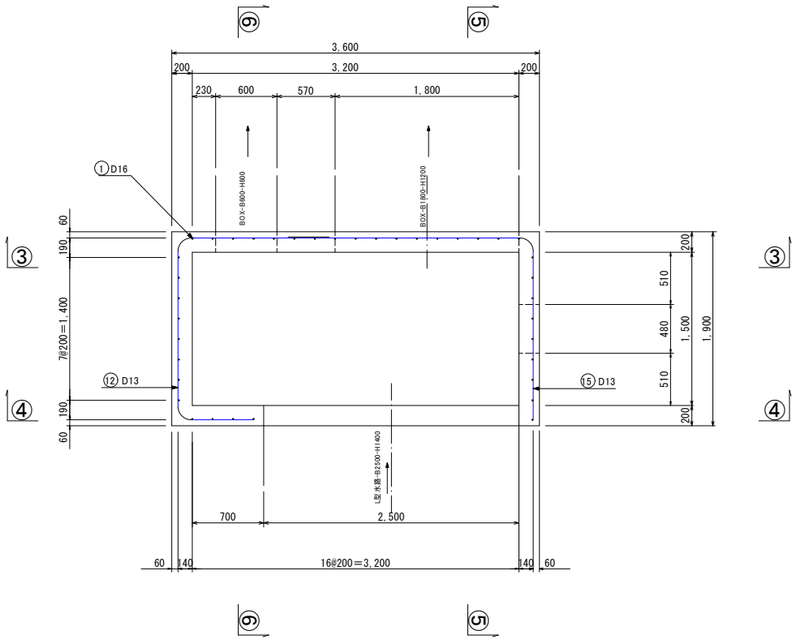
令 和 7 年 度		図 番	13 葉 8
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河 川 名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
現場打集水桝構造図 3 葉 1			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

現場打集水桝構造図(2/3)

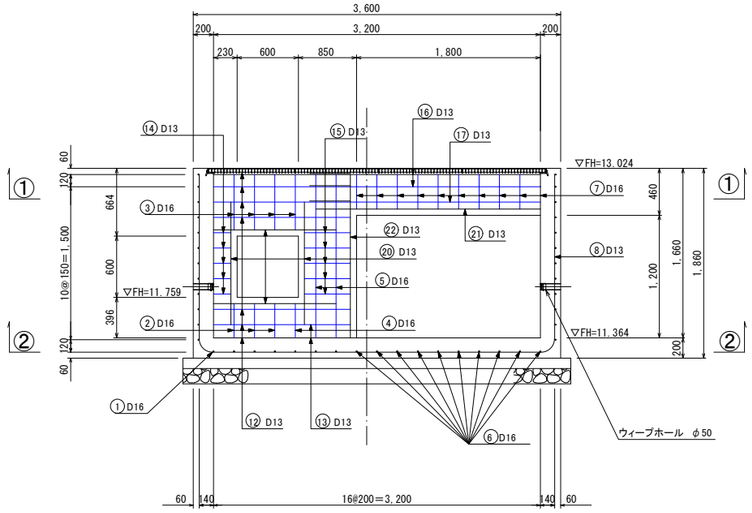
SM-B3200-L1500-H1660

S=1:30

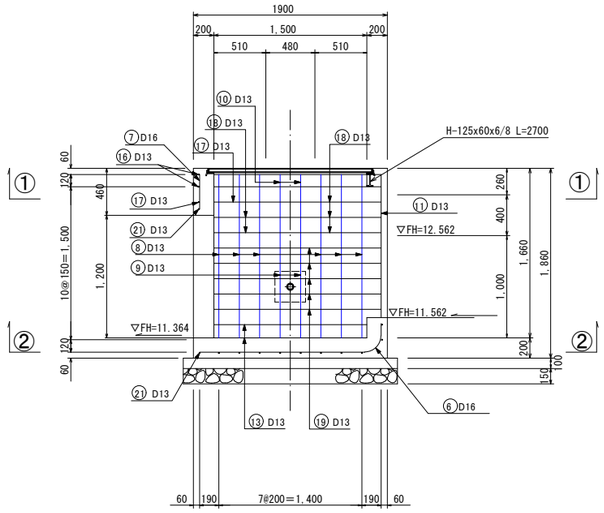
平 面 図



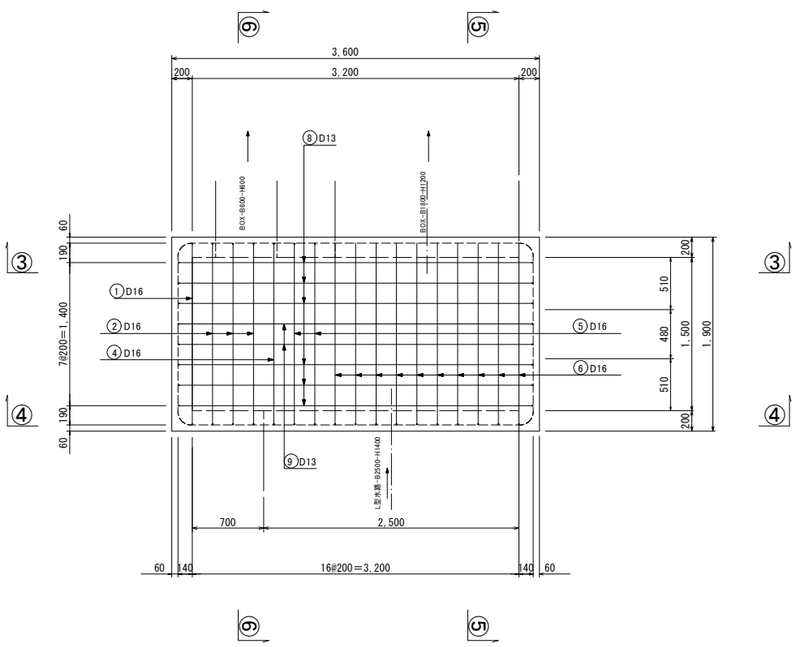
③ － ③



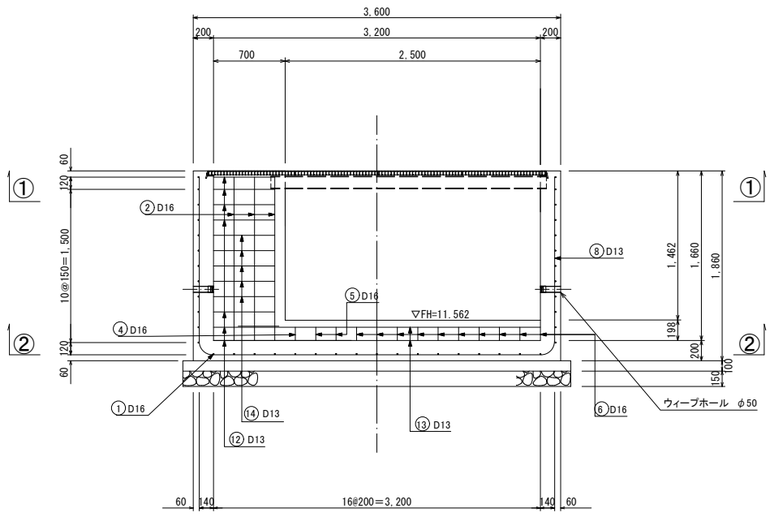
⑤ － ⑤



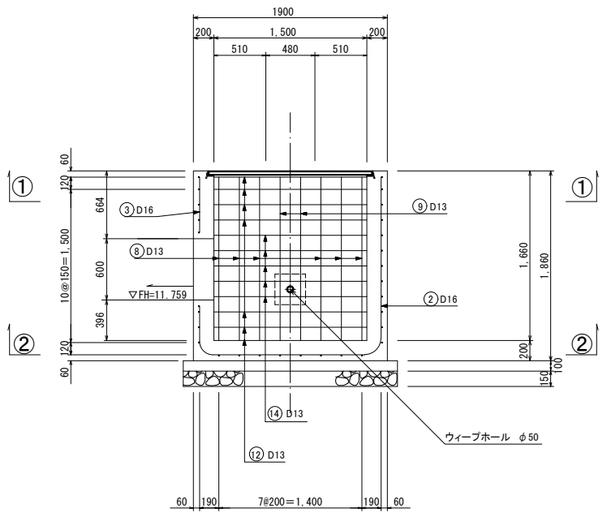
② － ②



④ － ④



⑥ － ⑥



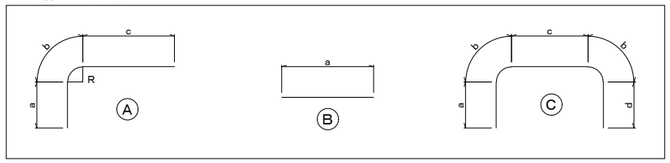
実 施

令 和 7 年 度		図 番	13 葉 9
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河 川 名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
現場打集水桝構造図 3 葉 2			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

現場打集水桝構造図(3/3)

SM-B3200-L1500-H1660

鉄筋加工図



鉄筋加工表

記号	径 (mm)	形状	a	b	c	d	e	R	長さ (mm)	本数
①	D16	C	1580	251	1490	251	1580	160	5160	1
②	D16	C	316	251	1490	251	1580	160	3890	3
③	D16	B	544						550	4
④	D16	C	316	251	1490	251	118	160	2430	1
⑤	D16	C	1580	251	1490	251	118	160	3690	2
⑥	D16	A	118	251	1620			160	1990	10
⑦	D16	B	340						340	10
⑧	D13	C	1610	204	3220	204	1610	130	6850	6
⑨	D13	C	1610	204	3220	204	950	130	6190	2
⑩	D13	B	140						140	2
⑪	D13	B	1740						1740	1
⑫	D13	C	1630	204	1520	204	650	130	4210	7
⑬	D13	A	1650	204	2970			130	4830	2
⑭	D13	C	180	204	1520	204	650	130	2760	5
⑮	D13	B	730						730	5
⑯	D13	A	1650	204	2270			130	4130	2
⑰	D13	A	460	204	2270			130	2940	1
⑱	D13	B	590						590	5
⑲	D13	B	1780						1780	5
⑳	D13	B	1200						1200	4
㉑	D13	B	2200						2200	2
㉒	D13	B	1740						1740	1

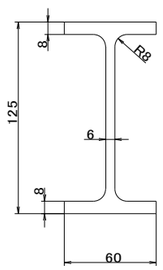
鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
①	D16	5160	1	1.560	8.05	8.1	
②	D16	3890	3	1.560	6.068	18.2	
③	D16	550	4	1.560	0.858	3.4	
④	D16	2430	1	1.560	3.791	3.8	
⑤	D16	3690	2	1.560	5.756	11.5	
⑥	D16	1990	10	1.560	3.104	31.0	
⑦	D16	340	10	1.560	0.53	5.3	
⑧	D13	6850	6	0.995	6.816	40.9	
⑨	D13	6190	2	0.995	6.159	12.3	
⑩	D13	140	2	0.995	0.139	0.3	
⑪	D13	1740	1	0.995	1.731	1.7	
⑫	D13	4210	7	0.995	4.189	29.3	
⑬	D13	4830	2	0.995	4.806	9.6	
⑭	D13	2760	5	0.995	2.746	13.7	
⑮	D13	730	5	0.995	0.726	3.6	
⑯	D13	4130	2	0.995	4.109	8.2	
⑰	D13	2940	1	0.995	2.925	2.9	
⑱	D13	590	5	0.995	0.587	2.9	
⑲	D13	1780	5	0.995	1.771	8.9	
⑳	D13	1200	4	0.995	1.194	4.8	
㉑	D13	2200	2	0.995	2.189	4.4	
㉒	D13	1740	1	0.995	1.731	1.7	
					D16 計	81.3	
					D13 計	145.2	
					合 計	226.5	

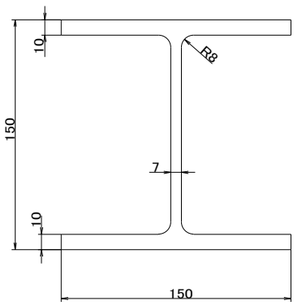
H形鋼断面図

S=1:2

H-125×60×6×8 L=2700



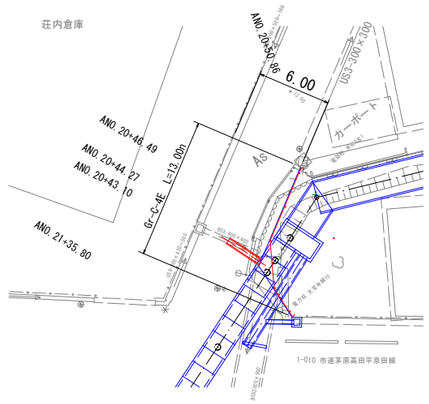
H-150×150×7×10 L=3400



防 護 柵 設 置 工

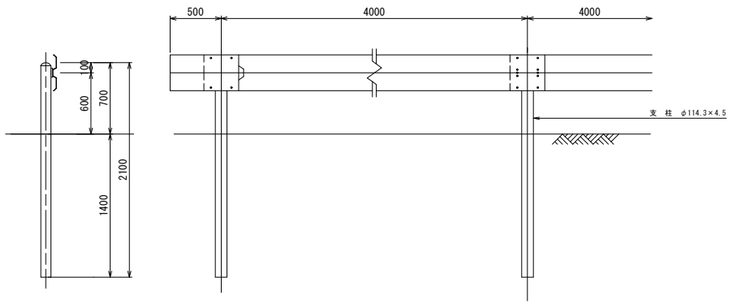
平 面 図

S=1/250



防 護 柵 工

ガードレール（Ｇｒ－Ｃ－４Ｅ） S＝1：30



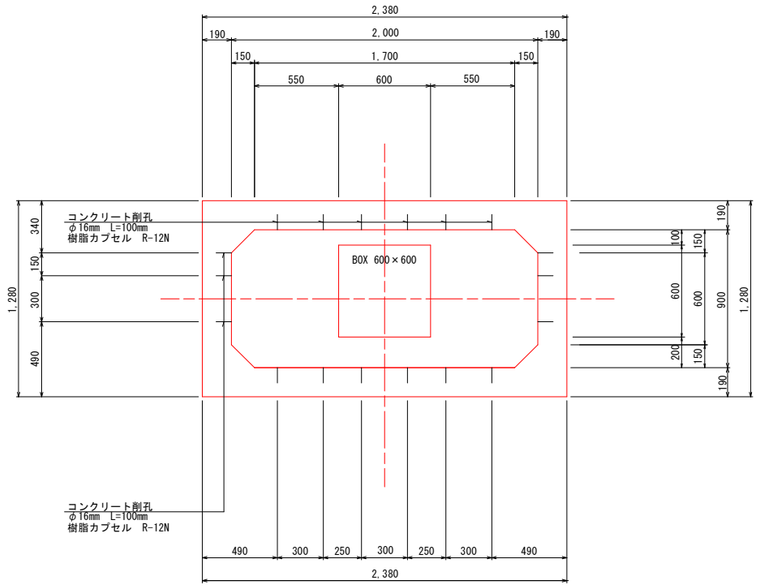
実 施

令 和 7 年 度		図 番	13 葉 10
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河 川 名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
現場打集水桝構造図 3 葉 3			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

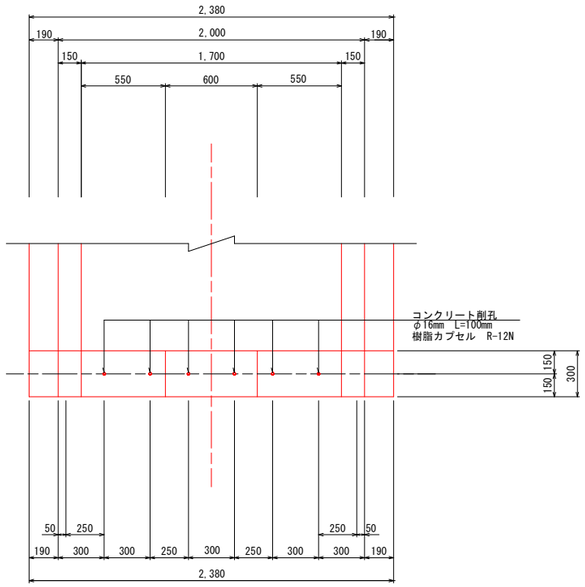
隔壁工構造配筋図

BOX 2000×900用 S=1:20

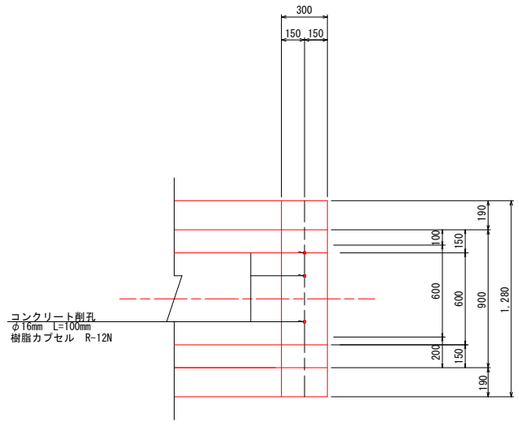
正 面 図



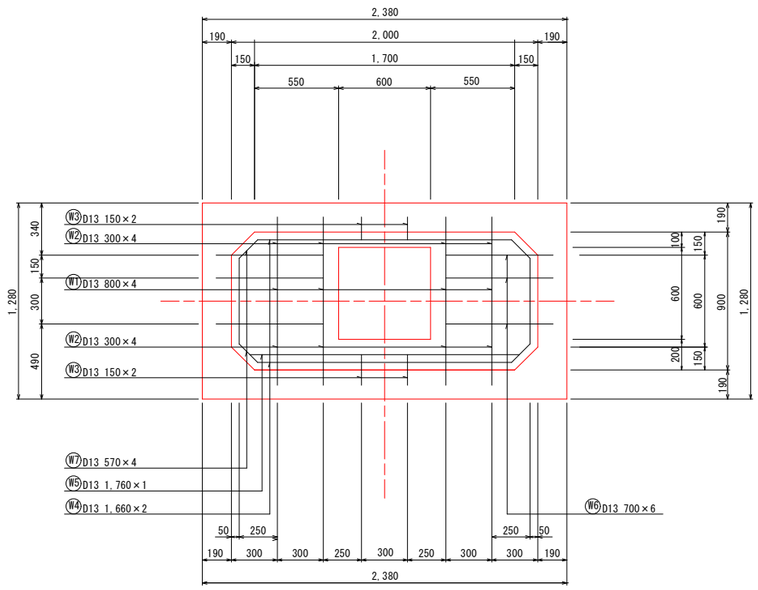
平 面 図



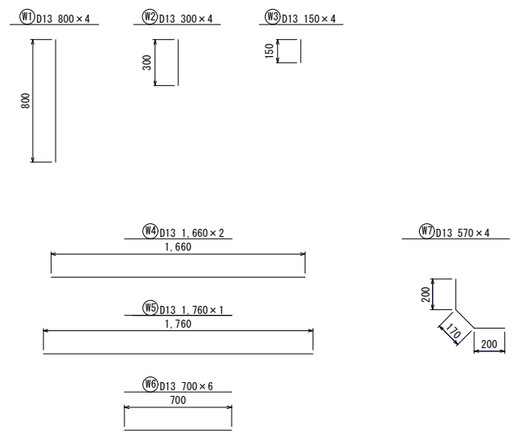
側 面 図



正 面 図



鉄 筋 加 工 図



※BOX 600×600の管底については、
現場で取り合わせを考慮のこと。

鉄筋重量表

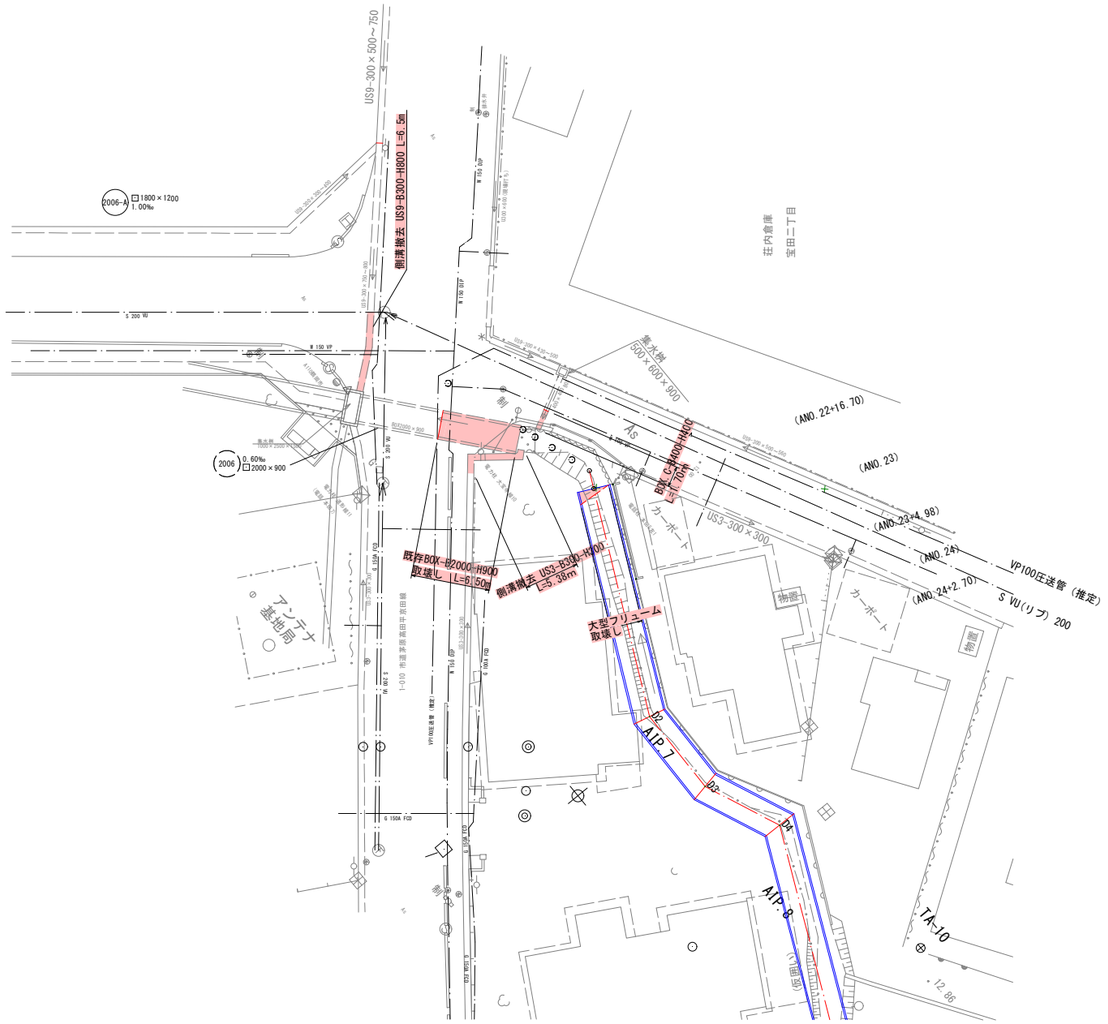
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	一本当り重量	重 量	摘 要
W1	D13	800	4	0.995	0.796	3.184	
W2	D13	300	4	0.995	0.299	1.196	
W3	D13	150	4	0.995	0.149	0.596	
W4	D13	1,660	2	0.995	1.652	3.304	
W5	D13	1,760	1	0.995	1.752	1.752	
W6	D13	700	6	0.995	0.697	4.182	
W7	D13	570	4	0.995	0.567	2.268	
合 計	D13					16.482 kg	(SD345)

実 施

令 和 7 年 度		図 番	13 葉 11
工事名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河 川 名	茅原第2幹線2006-A号		
位 置	鶴岡市茅原町地内		
隔壁工構造配筋図 1 葉 1			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

撤 去 工 平 面 図

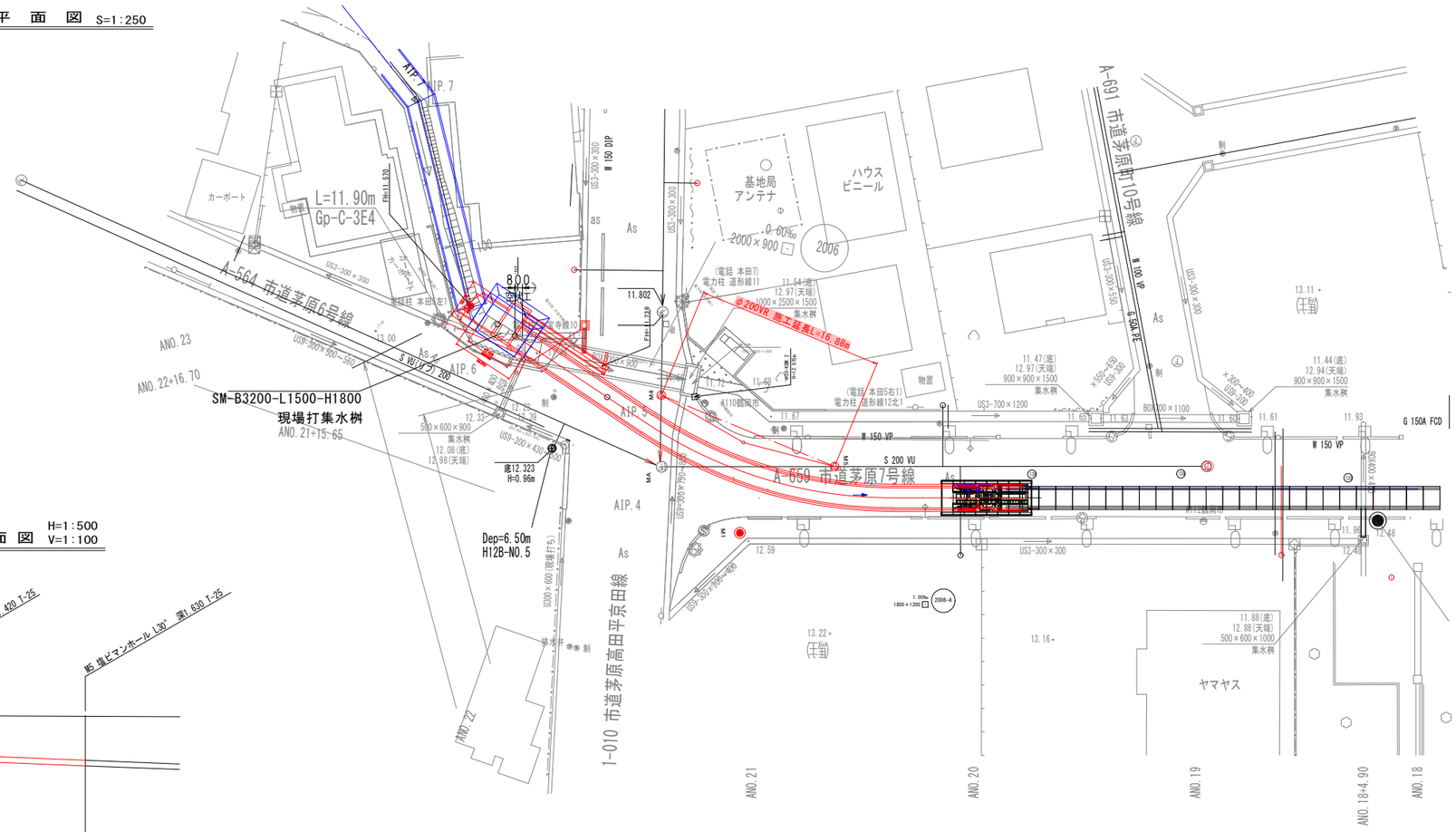
S=1/250



実　施

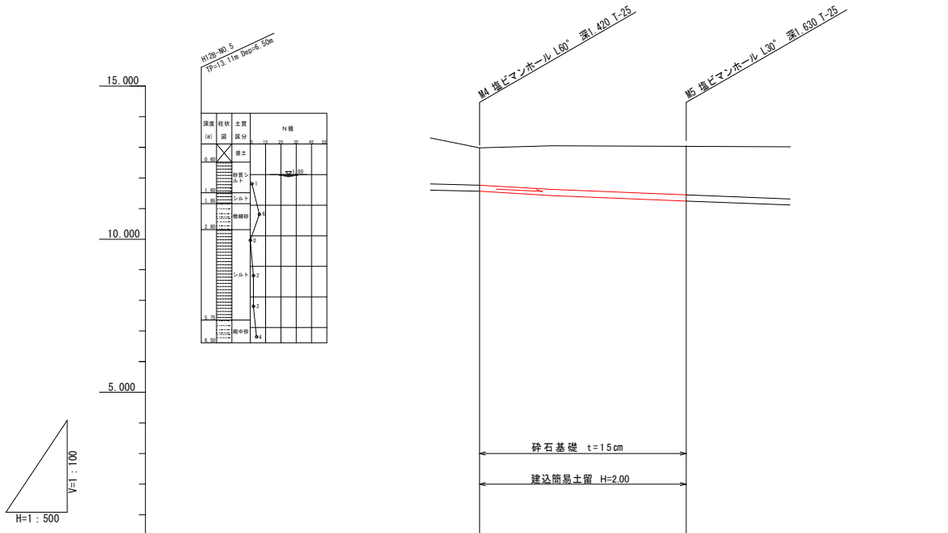
令　和　7　年　度		図　番	13 葉 12
工 事 名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)		
路線名又は河川名	茅原第2幹線2006-A号		
位　置	鶴岡市茅原町地内		
撤去工平面図　　1 葉 1			
縮　尺　図　示	鶴　岡　市		

平　面　図 S=1:250



縦　断　面　図

H=1:500
V=1:100

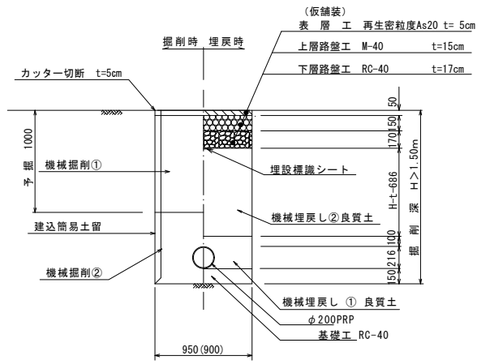


区間距離	
路線番号	
勾配	
現況地盤高	12.98 / 12.98
掘削深	1.58 / 1.58
土被り	1.21 / 1.40
管底高	11.560 / 11.362
追加距離	0.00 / 16.88
単距離	0.00 / 16.88
測点	M4 / M5

標準断面図

s=1:30

市　道　②
A-659 市道茅原7号線



凡　例

マンホール名称		
◉	1　号	90cm
⊗	小口径（塩ビ）	30cm
○	その他	
公共ます名称		
●—	公共ます	20・30cm
計画下水管名称		
——▶	下水道管	
—·—▶	圧送管	
既設埋設管名称		
——·——	下水管	
——·——	水道管	
—··—··—	ガス管	

実　施

令和7年度	図番	13葉 13
工事名	茅原第2幹線2006-A号新設工事(その3)	
路線名又は河川名	茅原第2幹線2006-A号	
位置	鶴岡市茅原町地内	
汚水平面・縦断図　1葉 1		
縮尺図示	鶴岡市	